

泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書
(令和6年11月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
[1]	海域調査	5
(1)	水質	5
①	日調査	5
②	週調査	5
③	月調査	5
④	年4回調査	6
(2)	海生生物	9
①	年4回調査	9
[2]	陸域調査	11
(1)	交通量	11
(2)	騒音・振動	11
(3)	大気質	12
2	環境監視結果	13
	海域調査結果	13
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	14
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	16
	基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査・年4回調査](表1-4)	17
	一般項目及び生活環境項目	17
	特殊項目	18
	健康項目	19
	ダイオキシン類	20
	植物プランクトン調査結果(表1-5)	21
	動物プランクトン調査結果(表1-6)	22

魚卵調査結果(表1-7)	23
稚仔魚調査結果(表1-8)	23
底生生物調査結果(表1-9)	24
付着生物調査結果(表1-10, 図1-2)	25
漁業生物調査結果(表1-11)	29
陸域調査結果	31
陸域調査結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表1-12)	32
交通量・騒音・振動調査結果(表1-13)	33
大気質調査結果(表1-14～20, 図1-3～7)	34
 II 大阪基地	 43
1 環境監視結果の概要	45
1.1 環境監視の実施状況	45
1.2 環境監視の結果	45
(1) 交通量	45
(2) 騒音・振動	46
(3) 大気質	46
環境監視調査地点位置図(図2-1)	48
2 環境監視結果	49
監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表2-1)	49
交通量・騒音・振動調査結果(表2-2)	50
大気質調査結果(表2-3～9, 図2-2～6)	51
 III 堺基地	 59
1 環境監視結果の概要	61
1.1 環境監視の実施状況	61
1.2 環境監視の結果	61
(1) 交通量	61
(2) 騒音・振動	62

(3) 大気質	63
環境監視調査地点位置図(図3-1)	64
2 環境監視結果	65
監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表3-1)	65
交通量・騒音・振動調査結果(表3-2)	66
大気質調査結果(表3-3～9, 図3-2～6)	67

I 泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地

1 環境監視結果の概要

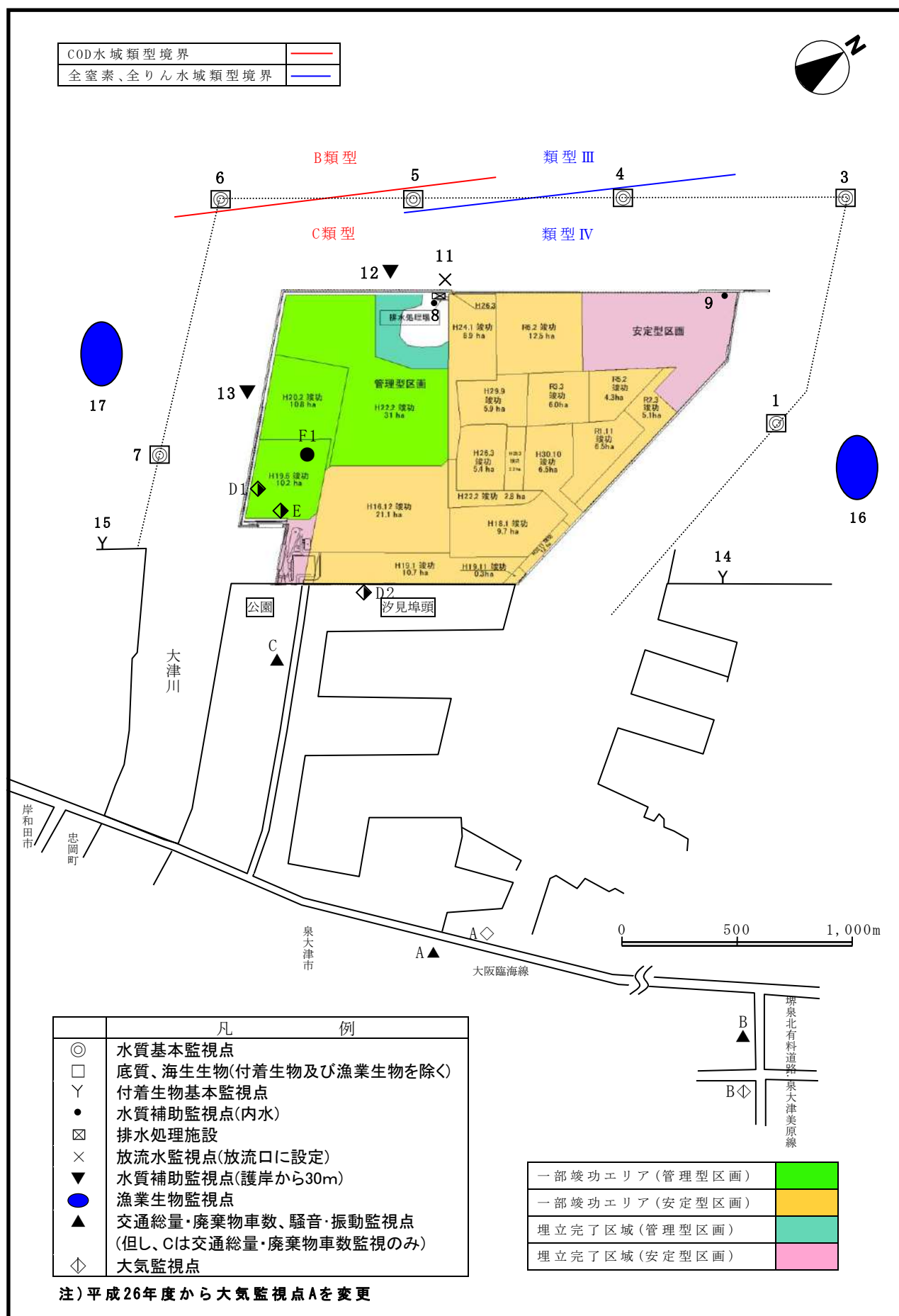
1.1 処分場の受入量

令和6年11月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入れ状況は表1-1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、泉大津基地に搬入の陸上残土 1,555.3 t、直接投入の陸上残土 14,375.0t(残土13,922.0t、購入残土453.0t)の合計 15,930.3tの受入れを行った。

表1-1 廃棄物等の受入れ状況（令和6年11月分）

(単位：t)

廃棄物の種類			大阪 基地	堺基地	和歌山 基地	泉大津 基地	泉大津沖埋立処分場		
							直接投入	埋立処分量	
一般 廃棄物	可燃ごみ（焼却灰）		6,491.4	7,054.4	1,311.0	—	—	—	
	ばいじん処理物		1,802.5	4,533.6	494.4	—	—	—	
	不燃・粗大ごみ		134.7	336.7	52.7	—	—	—	
	し尿処理汚泥			6.1	8.1	—	—	—	
	溶融処理物					—	—	—	
合 計			8,428.6	11,930.8	1,866.2	—	—	—	
産業 廃棄物	汚泥	上水汚泥	39.6	371.2	309.2	—	—	—	
		下水汚泥	181.3	1,268.5	47.8	—	—	—	
		合 計		220.9	1,639.7	357.0	—	—	—
	民間 産業 廃棄物	産管 理型	燃え殻	106.7	38.3	20.4	—	—	—
			汚泥	890.6	4,407.7	8.8	—	—	—
			鉍さい	675.5	283.9	5,366.5	—	—	—
			ばいじん	185.0		154.5	—	—	—
			その他の廃棄物	312.2	3.0		—	—	—
			廃プラスチック	119.3			—	—	—
			ゴムくず				—	—	—
		廃型	金属くず			3.9	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	395.7		317.2	—	—	—
			がれき類	2,126.4		1,417.4	—	—	—
			小 計	4,811.4	4,732.9	7,288.7	—	—	—
		産安 定型 廃型	廃プラスチック	—	—	—	—	—	—
			ゴムくず	—	—	—	—	—	—
			金属くず	—	—	—	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	—	—	—	—	—	—
			がれき類	—	—	—	—	—	—
		小 計		—	—	—	—	—	—
	合 計			4,811.4	4,732.9	7,288.7	—	—	—
	合 計			5,032.3	6,372.6	7,645.7	—	—	—
陸上残土	安定型	残土	—	—	—	1,555.3	13,922.0	15,477.3	
		購入残土	—	—	—		453.0	453.0	
		小 計	—	—	—	1,555.3	14,375.0	15,930.3	
	管理型	残土	1,372.3	63.2	—				
		購入残土	—	—	—				
小 計		1,372.3	63.2	—					
浚渫土砂	安定型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
		小 計	—	—	—	—	—	—	
	管理型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
小 計		—	—	—	—	—	—		
総 計			14,833.2	18,366.6	9,511.9	1,555.3	14,375.0	15,930.3	
(埋立量内訳)					振替量（安定型⇒管理型）		—	管理型	—
								安定型	15,930.3



注) 残土のみの受入であり、ポンド部の投入はなく、覆土の作業のみを行った。

図 1-1 環境監視調査地点位置図 (泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地:令和6年11月)

1.2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度、水温、COD(化学的酸素要求量)、DO(溶存酸素量)、pH	管理型排水処理施設放流水 (St. 11 ^{注2})	1地点	連続測定	11/1～30
	SS(浮遊物質質量)			週1回	11/7, 12, 19, 26
	COD、pH、全窒素			月1回	11/7
	透明度、水温、SS、COD、DO、pH	補助監視点(内水) (St. 8, 9 ^{注1})	2地点	週1回	11/7, 12, 19, 26
	クロロフィルa、FSS(不揮発性浮遊物質質量)、塩分			年4回	11/7
	大腸菌数、大腸菌群数	放流水(St. 11) 補助監視点(St. 8)	2地点		
	濁度、透明度、水温 SS、クロロフィルa、FSS、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	月1回	11/21
	全窒素、全リン、 大腸菌数、 ノルマルヘキサン抽出物質	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	年4回	11/21
	フェノール類、銅、亜鉛、 総クロム、溶解性鉄、 溶解性マンガン、硝酸性窒素、 亜硝酸性窒素	放流水(St. 11) 補助監視点(St. 8)	2地点		11/7
		補助監視点(内水) (St. 9 ^{注1})	1地点	年1回	—
	カドミウム、全シアン、有機リン、 鉛、六価クロム、砒素、 総水銀、アルキル水銀、 PCB、ジクロロメタン、 四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、 1,1,2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 1,3-ジクロロプロペン、 チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、 ベンゼン、セレン、硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素、 ほう素、ふっ素、 1,4-ジオキサン、アノモニア等、 クロロエチレン、 1,2-ジクロロエチレン (注)有機リン及びほう素は St. 8, 9, 11のみ、クロロエチレン 及び1,2-ジクロロエチレンは St. 12, 13のみ測定	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	年2回	—
		補助監視点(内水) (St. 8)	1地点	年4回	11/21
		管理型排水処理 施設放流水 (St. 11)	1地点	年4回	11/7
		補助監視点(内水) (St. 9 ^{注1})	1地点	年1回	—
	ダイオキシン類	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11) 補助監視点(内水) (St. 8)	4地点	年4回	11/7
		補助監視点 (St. 12, 13)			11/21

注1) St. 9は令和3年度より欠測とする。

注2) 11月23日(土)～11月25日(月)及び11月28日(木)～11月30日(土)の放流水は、濁度上昇により放流停止。

環境項目	測 定・調 査 項 目	測 定 点	測定点数	頻 度	実 施 日
底 質	含水率、粒度組成、 COD、強熱減量、 全窒素、硫化物、 全燐、カドミウム、シアン、 有機燐、鉛、六価クロム、 PCB、砒素、総水銀、 アルキル水銀、トリクロロエチレン、 テトラクロロエチレン、 銅、亜鉛、ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 2 回	—
海 生 生 物	プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 4 回	11/21
	底生生物				11/22
	魚卵・稚仔魚				11/22
	付着生物	St. 14, 15	2 地点		11/8
	漁業生物	St. 16, 17	2 地点		11/21～11/22
交 通 量	総交通量（2車種分類 ^{注1)} ）	A, B, C	3 地点	年 4 回	11/22
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1)})			毎正時 (10時間)	
				全交通量	
騒 音・振 動	騒音レベル、振動レベル	A, B	2 地点	年 2 回 毎正時 (10時間)	11/22
大 気 質	二酸化硫黄、一酸化窒素、 二酸化窒素、浮遊粒子状 物質、風向・風速			年 4 回 1週間 (連続)	11/22～11/28
悪 臭	臭気強度、臭気濃度	D 1, D 2	風上・風下	年 2 回	—
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1 地点	年 1 回	—
発 生 ガ ス	メタン濃度	F 1, F 2	2 地点	年 2 回	—

1.3 環境監視の結果

〔 1 〕 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表 1 - 2 ～表 1 - 4 に示す。

① 日 調 査

放流水（表 1 - 2）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

濁度は 5～100度(カリン)、CODは 19～23mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは 7.2～8.2(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週 調 査

内 水（表 1 - 3）

[管理型区画内水(St. 8)]

SSは 4～7mg/L、CODは 31～36mg/Lであった。

[安定型区画内水(St. 9)]

令和3年度より欠測とする。

放流水（表 1 - 3）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

放流水のSSは 4～6mg/L（管理基準値50mg/L）であった。

③ 月 調 査

海 域（表 1 - 4 (1)）

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

(表層)

濁度は 1～2度(カリン)（目安値 11度(カリン)）、FSSは 全監視点 <1mg/L（監視基準値 5 mg/L）、CODは 1.8～2.2mg/L、DOは 6.7～6.9mg/L、pHは全監視点 8.0であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

濁度は 1～3度(カリン)（目安値 9度(カリン)）、FSSは <1～1mg/L（監視基準値 7 mg/L）、CODは 1.4～1.9mg/L、DOは 6.5～6.8mg/L、pHは全監視点 8.0であり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 5, 7 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0~8.3)

St. 6 : B 類型 (COD 3 mg/L 以下、D0 5 mg/L 以上、pH 7.8~8.3)

[補助監視点(St. 12, 13)]

(表層)

CODは 1.8及び1.9mg/L、D0は両監視点ともに 6.9mg/L、pHは両監視点ともに 8.0 で、C類型環境基準を満足していた。

(底層)

CODは両監視点ともに 1.8mg/L、D0は 6.7及び6.8mg/L、pHは両監視点ともに 8.0 で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0~8.3)

放流水 (表 1 - 4 (1))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは 24mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは 7.8 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は 33mg/L (管理基準値60mg/L) であった。

④ 年 4 回 調 査

海 域 (表 1 - 4 (1) ~ (2) 、表 1 - 4 (4))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.37~0.48mg/L、全リンは 0.043~0.063mg/L、大腸菌数は 3~17CFU/100ml、ノルマルヘキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、全リン以外は特に問題のない結果であった。

なお、全リンについては、監視点St. 5, 6 (0.054~0.063mg/L) で環境基準 (類型Ⅲ ; 0.05mg/L 以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で0.029~0.31mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

全窒素は 0.36~0.43mg/L、全リンは 0.044~0.056mg/Lであり、全リン以外は特に問題のない結果であった。

なお、全リンについては、監視点St. 5 (0.054mg/L) で環境基準 (類型Ⅲ ; 0.05mg/L 以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で0.020

～0.19mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 7 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全燐 0.09 mg/L 以下)

St. 5, 6 : 類型Ⅲ (全窒素 0.6 mg/L 以下、全燐 0.05 mg/L 以下)

St. 1, 3～7 : 大腸菌数 (B・C 類型は基準なし)

St. 6 : n-ヘキサン抽出物質 (B 類型 検出されないこと。C 類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

銅は 0.002～0.003mg/L、亜鉛は 0.002～0.004mg/L、硝酸性窒素は 0.12～0.15mg/L、亜硝酸性窒素は 0.020～0.025mg/L であり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

銅は 0.002～0.003mg/L、亜鉛は 0.001～0.002mg/L、硝酸性窒素は 0.10～0.13mg/L、亜硝酸性窒素は 0.020～0.024mg/L であり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.44 及び 0.46mg/L、全燐は 0.056 及び 0.069mg/L、大腸菌数は 9 及び 8CFU/100ml、ノルマルヘキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は 0.46 及び 0.41mg/L、全燐は 0.062 及び 0.059mg/L であり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全燐 0.09 mg/L 以下)

C 類型 (大腸菌数 基準なし、n-ヘキサン抽出物質 基準なし)

(特殊項目)

(表層)

銅は両監視点ともに 0.002mg/L、亜鉛は両監視点ともに 0.004mg/L、硝酸性窒素は 0.13 及び 0.15mg/L、亜硝酸性窒素は 0.022 及び 0.020mg/L であり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(底層)

銅は 0.003 及び 0.002mg/L、亜鉛は両監視点ともに 0.004mg/L、硝酸性窒素は両監視点ともに 0.13mg/L、亜硝酸性窒素は 0.024 及び 0.020mg/L であり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.052及び0.064pg-TEQ/L (SSは 2及び1mg/L)であり、環境基準(1pg-TEQ/L以下)を満足していた。

内 水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))

[管理型区画内水(St. 8)]

(一般項目)

FSSは 2mg/Lであった。

(生活環境項目)

全窒素は 35mg/L、全リンは 0.059mg/L、大腸菌群数は 7個/cm³、大腸菌数は7CFU/100mlであり、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

フェノール類は 0.13mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

砒素は 0.006mg/L、ほう素は 1.5mg/L、ふっ素は 1.3mg/L、アンモニア等は14mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.12pg-TEQ/L、SSは 5mg/Lであった。

放 流 水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

(生活環境項目)

全窒素は 33mg/L (管理基準値60mg/L)、全リンは 0.045mg/L (管理基準値8mg/L)、大腸菌群数は 9個/cm³、大腸菌数は 3CFU/100mlであり、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

(特殊項目)

フェノール類は 0.08mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

砒素は 0.006mg/L、ほう素は 1.5mg/L、ふっ素は 1.3mg/L、アンモニア等は13mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.0033pg-TEQ/L、SSは 4mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値(10 pg-TEQ/L)、さらにSSの管理基準値(50mg/L)を下回っていた。

(2) 海生生物

海生生物の調査結果を表 1-5～表 1-11 及び図 1-2 に示す。

① 年 4 回調査

ア) 植物プランクトン (表 1-5 (1)～(2))

種類数が表層では 17～22 種類 (総種類数 36 種類)、底層では 18～24 種類 (総種類数 41 種類) の範囲にあり、細胞数は表層では 71～169 細胞/mL、底層では 132～181 細胞/mL の範囲であった。

イ) 動物プランクトン (表 1-6)

種類数が 31～38 種類 (総種類数 49 種類) の範囲にあり、個体数は 64,353～108,535 個体/m³ の範囲であった。

ウ) 魚卵 (表 1-7)

種類数がすべての調査点 2 種類 (総種類数 2 種類) であり、個体数は 110～654 個体/1,000m³ の範囲であった。

エ) 稚仔魚 (表 1-8)

種類数が 5～7 種類 (総種類数 9 種類) の範囲にあり、個体数は 164～434 個体/1,000m³ の範囲であった。

オ) 底生生物 (表 1-9)

種類数が 3～10 種類 (総種類数 14 種類) の範囲にあり、個体数は 4～578 個体/0.1m² の範囲であった。

カ) 付着生物 (表 1-10 (1)～(4)、図 1-2)

[ベルトトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点 14 で 6 種類、調査点 15 で 7 種類、動物が調査点 14 で 23 種類、調査点 15 で 24 種類観察された。

鉛直分布では調査点 14 で動物のカンザシゴカイ科が広範囲に被覆しており、調査点 15 で動物のカンザシゴカイ科、ヨコエビ類の泥巣が広範囲に被覆しており、動物のサンショウウニが広範囲にみられた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で 4～8 種類 (総種類数 11 種類) の範囲にあり、湿重量は 0.1 g 未満～0.2 g /0.09m² であった。動物は種類数が両地点で 34～47 種類 (総種類数 84 種類) の範囲にあり、個体数は 263～1,077 個体/0.09m²、湿重量は 5.6～63.0 g/0.09m² の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表 1-11(1)～(2))

種類数は調査点16が 7種類、調査点17が 5種類 (総種類数9種類)、個体数では調査点16が 31個体/網、調査点17が 21個体/網、さらに湿重量では調査点16が 15,043.5 g /網、調査点17が 15,943.5 g /網であった。

〔 2 〕 陸 域 調 査

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果について、総括を表 1－12に、各測定・調査項目ごとの結果を表 1－13～表 1－20及び図 1－3～図 1－7に示す。

(1) 交通量（表 1－12、表 1－13）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 A

時間交通量は 2,055～3,222台、廃棄物車の時間交通量は 0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 22台/10hrで、総交通量(24,172台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点 B

時間交通量は 582～984台、廃棄物車の時間交通量は 0～1台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 2台/10hrで、総交通量(8,240台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 泉大津基地近傍の測定点 C

時間交通量は 186～410台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 10台/10hrで、総交通量(3,202台/10hr)に占める割合は 0.3%であった。

(2) 騒音・振動（表 1－12、表 1－13）

① 騒 音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 A

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 69.9～71.4dB(平均71dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 67～70dB(平均68dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)を上回っていたが、要請限度(75dB)は下回っていた。

なお、廃棄物車両の総交通量に占める割合が平均0.1%(0.0～0.2%)であるため、当センター事業の廃棄物車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点B

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 68.2～71.8dB(平均70dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 64～68dB(平均66dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)以下であった。

② 振 動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点Aでは 40～47dB(平均44dB)であり、測定点Bでは 35～39dB(平均38dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(70dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表 1-14～表 1-20)

ア) 大阪臨海線沿道の測定点A

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 2.0m/secであった。

イ) 泉大津美原線沿道の測定点B

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は南南西であり、平均風速は 1.4m/secであった。

2 環境監視結果

海 域 調 査 結 果

表 1 - 2 放流水の測定結果 [日調査] (令和6年11月)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(金)	6 ~ 7 (6)	19.0 ~ 20.6 (19.3)	19 ~ 20 (20)	1.7 ~ 4.3 (3.0)	7.4 ~ 7.5 (-)
2(土)	7 ~ 7 (7)	19.2 ~ 19.7 (19.4)	19 ~ 20 (20)	2.9 ~ 3.9 (3.5)	7.5 ~ 7.5 (-)
3(日)	7 ~ 9 (7)	19.3 ~ 19.9 (19.5)	19 ~ 20 (20)	2.7 ~ 3.4 (3.0)	7.4 ~ 7.5 (-)
4(月)	8 ~ 10 (9)	19.0 ~ 19.9 (19.4)	19 ~ 20 (20)	2.1 ~ 3.1 (2.7)	7.2 ~ 7.3 (-)
5(火)	9 ~ 11 (9)	19.0 ~ 20.4 (19.3)	19 ~ 20 (20)	1.5 ~ 5.1 (3.1)	7.2 ~ 7.4 (-)
6(水)	8 ~ 10 (9)	18.8 ~ 19.8 (19.3)	20 ~ 20 (20)	3.5 ~ 4.6 (4.2)	7.6 ~ 7.6 (-)
7(木)	8 ~ 10 (9)	15.7 ~ 19.7 (18.3)	19 ~ 21 (20)	3.4 ~ 5.3 (4.4)	7.5 ~ 7.6 (-)
8(金)	9 ~ 12 (10)	16.5 ~ 17.7 (17.2)	19 ~ 20 (20)	4.9 ~ 5.4 (5.2)	7.5 ~ 7.5 (-)
9(土)	11 ~ 12 (11)	16.0 ~ 16.7 (16.3)	19 ~ 20 (20)	4.8 ~ 5.6 (5.2)	7.5 ~ 7.5 (-)
10(日)	10 ~ 12 (11)	15.8 ~ 16.7 (16.2)	19 ~ 20 (20)	4.0 ~ 5.2 (4.7)	7.5 ~ 7.6 (-)
11(月)	9 ~ 11 (9)	16.4 ~ 19.2 (16.9)	20 ~ 21 (21)	3.2 ~ 5.0 (4.1)	7.6 ~ 7.7 (-)
12(火)	7 ~ 10 (8)	17.1 ~ 18.0 (17.5)	20 ~ 21 (21)	3.1 ~ 4.3 (3.8)	7.8 ~ 7.8 (-)
13(水)	7 ~ 8 (7)	16.7 ~ 20.8 (17.8)	20 ~ 21 (21)	2.4 ~ 4.5 (3.3)	7.8 ~ 7.8 (-)
14(木)	6 ~ 7 (6)	17.4 ~ 18.2 (17.8)	20 ~ 21 (20)	1.4 ~ 3.6 (2.6)	7.8 ~ 7.8 (-)
15(金)	5 ~ 18 (6)	17.7 ~ 19.4 (17.9)	20 ~ 21 (21)	0.6 ~ 4.8 (2.5)	7.8 ~ 7.8 (-)
16(土)	5 ~ 7 (6)	17.9 ~ 18.0 (17.9)	20 ~ 22 (21)	2.2 ~ 3.7 (3.1)	7.9 ~ 7.9 (-)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.～MAX.	水 温 (℃) MIN.～MAX.	COD (mg/L) MIN.～MAX.	DO (mg/L) MIN.～MAX.	pH (-) MIN.～MAX.
17(日)	5 ～ 9 (6)	17.8 ～ 18.5 (18.1)	21 ～ 23 (21)	0.1 ～ 3.0 (1.6)	7.9 ～ 7.9 (-)
18(月)	6 ～ 12 (6)	15.5 ～ 19.6 (17.9)	21 ～ 23 (22)	0.0 ～ 3.9 (1.2)	8.0 ～ 8.1 (-)
19(火)	8 ～ 62 (36)	15.9 ～ 17.3 (16.7)	21 ～ 23 (22)	1.6 ～ 5.5 (2.9)	7.9 ～ 8.2 (-)
20(水)	14 ～ 58 (23)	13.8 ～ 16.0 (15.5)	19 ～ 21 (20)	4.9 ～ 6.9 (5.9)	7.3 ～ 7.7 (-)
21(木)	13 ～ 27 (19)	14.5 ～ 15.4 (15.0)	19 ～ 21 (20)	3.5 ～ 6.2 (4.8)	7.6 ～ 7.7 (-)
22(金)	11 ～ 14 (12)	14.8 ～ 15.6 (15.2)	20 ～ 21 (21)	2.7 ～ 8.6 (4.2)	7.8 ～ 7.9 (-)
23(土)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
24(日)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
25(月)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
26(火)	19 ～ 100 (47)	14.3 ～ 15.0 (14.7)	20 ～ 22 (20)	7.0 ～ 7.5 (7.4)	7.7 ～ 7.8 (-)
27(水)	17 ～ 24 (18)	14.0 ～ 15.1 (14.8)	20 ～ 21 (20)	7.1 ～ 8.3 (7.4)	7.6 ～ 7.6 (-)
28(木)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
29(金)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
30(土)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (※)	※ ～ ※ (-)
	～ ()	～ ()	～ ()	～ ()	～ (-)
11 月 集計結果	5 ～ 100 (12)	13.8 ～ 20.8 (17.4)	19 ～ 23 (20)	0.0 ～ 8.6 (3.9)	7.2 ～ 8.2 (-)

注：()内は平均値を示す。

注：※項目は、濁度上昇により放流停止。SS濃度は管理目標値内

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和6年11月)

調 査 日	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
11月7日 (木)	8		0.9	16.9	5	31	<0.5	7.8	35
	11		-	18.3	4	24	-	7.8	33
11月12日 (火)	8		1.2	18.5	4	33	<0.5	7.9	31
	11		-	18.1	5	-	-	-	29
11月19日 (火)	8		0.9	15.2	5	33	<0.5	7.9	39
	11		-	16.8	4	-	-	-	35
11月26日 (火)	8		0.8	14.5	7	36	<0.5	7.9	38
	11		-	14.9	6	-	-	-	39
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8	最大値	1.2	18.5	7	36	<0.5	7.9	39
		最小値	0.8	14.5	4	31	<0.5	7.8	31
		平均値	1.0	16.3	5	33	<0.5	-	36
	11	最大値	-	18.3	6	24	-	7.8	39
		最小値	-	14.9	4	-	-	-	29
		平均値	-	17.0	5	-	-	-	34
	[放流水]								

表 1 - 4 (1) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [月調査・年4回調査] (一般項目及び生活環境項目) (令和6年11月)

調査年月日：令和6年11月21日															
監視区分		基 本 監 視 点									内 水	放流水	補助監視点		
項目	地点番号	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8 ^{注2}	11 ^{注2}	12	13
調査時刻	－	10:15	9:46	9:30	9:14	8:54	8:33	－	～	－	－	12:11	11:53	8:05	8:20
濁度 (度(カリン))	表層	1	1	2	1	1	1	1	～	2	1	－	－	1	1
	底層	2	2	3	2	1	2	1	～	3	2			2	1
透明度 (m)	－	4.0	3.6	3.4	3.2	3.4	3.8	3.2	～	4.0	3.6	0.9	－	3.6	4.3
水温 (℃)	表層	19.9	19.9	19.8	19.8	19.4	19.7	19.4	～	19.9	19.8	16.9	18.3	19.6	19.4
	底層	19.7	20.2	20.3	20.4	20.2	19.4	19.4	～	20.4	20.0			19.7	19.5
S S (mg/L)	表層	2	2	3	2	2	2	2	～	3	2	5	4	2	1
	底層	3	2	4	3	2	4	2	～	4	3			6	2
クロロフィルa (μ g/L)	表層	<1	<1	1	<1	<1	<1	<1	～	1	1	18	－	<1	1
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
F S S (mg/L)	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1	2	－	<1	<1
	底層	1	<1	1	<1	<1	1	<1	～	1	1			2	<1
塩分 (‰)	表層	31.7	31.7	31.7	31.7	31.4	31.6	31.4	～	31.7	31.6	14.1	－	31.6	31.6
	底層	31.7	31.8	32.0	32.0	31.9	31.7	31.7	～	32.0	31.9			31.7	31.7
C O D (mg/L)	表層	2.2	1.8	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8	～	2.2	1.9	31	24	1.8	1.9
	底層	1.7	1.6	1.9	1.9	1.4	1.7	1.4	～	1.9	1.7			1.8	1.8
D O (mg/L)	表層	6.7	6.9	6.7	6.8	6.9	6.8	6.7	～	6.9	6.8	<0.5	－	6.9	6.9
	底層	6.5	6.8	6.7	6.6	6.8	6.6	6.5	～	6.8	6.7			6.7	6.8
p H (－)	表層	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	～	8.0	－	7.8	7.8	8.0	8.0
	底層	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	～	8.0	－			8.0	8.0
全窒素 (mg/L)	表層	0.43	0.37	0.48	0.43	0.43	0.40	0.37	～	0.48	0.42	35	33	0.44	0.46
	底層	0.43	0.37	0.36	0.37	0.39	0.42	0.36	～	0.43	0.39			0.46	0.41
全燐 (mg/L)	表層	0.043	0.046	0.050	0.054	0.063	0.048	0.043	～	0.063	0.051	0.059	0.045	0.056	0.069
	底層	0.053	0.044	0.048	0.054	0.050	0.056	0.044	～	0.056	0.051			0.062	0.059
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	3	17	5	6	14	12	3	～	17	10	7	3	9	8
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
大腸菌群数 (個/cm ³)	表層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－	7	9	－	－
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	底層	－	－	－	－	－	－	－	～	－	－			－	－

注1：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2：St. 8及びSt. 11の調査日は、11月7日である。

表 1 - 4 (2) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (特殊項目) (令和 6 年 11 月)

調査年月日：令和 6 年 11 月 21 日

調査年月日：令和6年11月21日

監視区分		基 本 監 視 点								内 水	放流水	補助監視点		
項目	地点番号	1	3	4	5	6	7	最小値	～ 最大値	平均値	8 ^{注2}	11 ^{注2}	12	13
調査時刻	-	10:15	9:46	9:30	9:14	8:54	8:33	-	～ -	-	12:11	11:53	8:05	8:20
フェノール類	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～ <0.005	<0.005	0.13	0.08	<0.005	<0.005
	(mg/L) 底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～ <0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅	表層	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	～ 0.003	0.002	<0.005	<0.005	0.002	0.002
	(mg/L) 底層	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	～ 0.003	0.002			0.003	0.002
亜鉛	表層	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004	0.003	0.002	～ 0.004	0.003	<0.005	<0.005	0.004	0.004
	(mg/L) 底層	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	～ 0.002	0.002			0.004	0.004
総クロム	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01	<0.08	<0.08	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性マンガン	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	(mg/L) 底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素	表層	0.15	0.12	0.13	0.14	0.15	0.15	0.12	～ 0.15	0.14	<0.04	<0.04	0.13	0.15
	(mg/L) 底層	0.13	0.11	0.10	0.12	0.11	0.12	0.10	～ 0.13	0.12			0.13	0.13
亜硝酸性窒素	表層	0.025	0.022	0.024	0.022	0.022	0.020	0.020	～ 0.025	0.023	<0.04	<0.04	0.022	0.020
	(mg/L) 底層	0.024	0.021	0.020	0.023	0.021	0.020	0.020	～ 0.024	0.022			0.024	0.020

注1：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

注2：St. 8及びSt. 11の調査日は、11月7日である。

表 1 - 4 (3) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (健康項目) (令和 6 年 11 月)

調査年月日: 令和 6 年 11 月 7 日

	監視区分	内水[管理型区画]	放流水
	地点番号	8	11
項目	調査時刻	12:11	11:53
カドミウム	mg/L	<0.005	<0.005
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1
有機リン	mg/L	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	0.006	0.006
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	—	—
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.001	<0.001
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.005	<0.005
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	<0.08	<0.08
ほう素	mg/L	1.5	1.5
ふっ素	mg/L	1.3	1.3
アンモニア等	mg/L	14	13

表 1 - 4 (4) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和6年11月)

調査年月日：令和6年11月21日

調査年月日：令和6年11月21日

監視区分		管理型区画内水	放流水	補助監視点	
項 目	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.12	0.0033	0.052	0.064
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	－	10	－	－
S S	(mg/L)	5	4	2	1
(管理基準値)	(mg/L)	－	50	－	－

注1：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水,放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の
1/2を用いて算出

表 1－5（1） 植物プランクトン調査結果（表層）（令和6年11月）

調査期日：令和6年11月21日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	17	21	22	21	19	17	36
細胞数（細胞/mL）	71	98	169	139	105	136	120
沈殿量（mL/L）	0.1	<0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	スケルトネマ コスタツム 12（16.9）	ハプト藻綱 27（27.6）	スケルトネマ コスタツム 69（40.8）	クリプト藻綱 48（34.5）	スケルトネマ コスタツム 27（25.7）	クリプト藻綱 54（39.7）	クリプト藻綱 27（22.6）
	タラシオテラ属 12（16.9）	クリプト藻綱 18（18.4）	タラシオテラ属 24（14.2）	スケルトネマ コスタツム 30（21.6）	ハプト藻綱 24（22.9）	ハプト藻綱 24（17.6）	スケルトネマ コスタツム 26（21.7）
	ハプト藻綱 11（15.5）	ニッチア属 15（15.3）	クリプト藻綱 18（10.7）	ハプト藻綱 18（12.9）	ニッチア属 18（17.1）	タラシオテラ属 18（13.2）	ハプト藻綱 20（16.6）
	クリプト藻綱 9（12.7）	スケルトネマ コスタツム 12（12.2）	ニッチア属 15（8.9）	ニッチア属 15（10.8）	クリプト藻綱 15（14.3）	ニッチア属 18（13.2）	ニッチア属 15（12.4）
	ニッチア属 8（11.3）	タラシオテラ属 5（5.1）	ハプト藻綱 15（8.9）	タラシオネマ ニッチオイデ ^ス 5（3.6）	タラシオテラ属 4（3.8）	スケルトネマ コスタツム 6（4.4）	タラシオテラ属 11（9.3）
					タラシオネマ ニッチオイデ ^ス 4（3.8）		

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1－5（2） 植物プランクトン調査結果（底層）（令和6年11月）

調査期日：令和6年11月21日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	18	24	22	24	23	20	41
細胞数（細胞/mL）	132	181	147	148	169	159	156
沈殿量（mL/L）	<0.05	0.1	0.1	0.1	<0.05	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	ハプト藻綱 42（31.8）	ハプト藻綱 57（31.5）	スケルトネマ コスタツム 51（34.7）	スケルトネマ コスタツム 45（30.4）	スケルトネマ コスタツム 39（23.1）	クリプト藻綱 39（24.5）	スケルトネマ コスタツム 37（23.9）
	クリプト藻綱 24（18.2）	スケルトネマ コスタツム 36（19.9）	クリプト藻綱 27（18.4）	クリプト藻綱 30（20.3）	クリプト藻綱 33（19.5）	タラシオテラ属 33（20.8）	クリプト藻綱 31（19.6）
	スケルトネマ コスタツム 23（17.4）	クリプト藻綱 30（16.6）	ハプト藻綱 21（14.3）	タラシオテラ属 21（14.2）	ニッチア属 24（14.2）	スケルトネマ コスタツム 30（18.9）	ハプト藻綱 28（17.9）
	タラシオテラ属 15（11.4）	タラシオテラ属 18（9.9）	タラシオテラ属 15（10.2）	ハプト藻綱 15（10.1）	タラシオテラ属 21（12.4）	ニッチア属 21（13.2）	タラシオテラ属 21（13.1）
	ニッチア属 9（6.8）	ニッチア属 15（8.3）	ニッチア属 6（4.1）	キートクロス デ ^ス ビ ^レ 6（4.1）	ハプト藻綱 18（10.7）	ハプト藻綱 15（9.4）	ニッチア属 14（8.7）
				ニッチア属 6（4.1）			

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1－6 動物プランクトン調査結果 (令和6年11月)

調査期日：令和6年11月21日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	36	31	37	38	35	32	49
個体数 (個体/m ³)	64,353	71,131	97,342	83,687	87,204	108,535	85,375
沈殿量 (mL/m ³)	5.5	4.6	4.1	4.5	4.8	6.1	4.9
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	オイトナ フレイコルニス 16,505 (25.6)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 18,644 (26.2)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 29,752 (30.6)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 25,862 (30.9)	オイトナ フレイコルニス 21,822 (25.0)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 29,268 (27.0)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 22,070 (25.9)
	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 13,350 (20.7)	オイトナ フレイコルニス 16,102 (22.6)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 24,587 (25.3)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 20,474 (24.5)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 21,398 (24.5)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 26,016 (24.0)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 20,757 (24.3)
	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 12,864 (20.0)	オイトナ属の コヘボテイト 期幼生 15,466 (21.7)	オイトナ フレイコルニス 18,595 (19.1)	オイトナ フレイコルニス 16,810 (20.1)	ハラカス属の コヘボテイト 期幼生 19,280 (22.1)	オイトナ フレイコルニス 19,309 (17.8)	オイトナ フレイコルニス 18,191 (21.3)
	ハラカス クラシストリス 8,495 (13.2)	ハラカス クラシストリス 8,051 (11.3)	ハラカス クラシストリス 12,810 (13.2)	ハラカス クラシストリス 10,991 (13.1)	ハラカス クラシストリス 10,805 (12.4)	ハラカス クラシストリス 17,683 (16.3)	ハラカス クラシストリス 11,473 (13.4)
	オイトナ ダウイセー 2,184 (3.4)	カイアシ類の ノブリス 期幼生 2,331 (3.3)	ミクロセテラ ノルベシカ 2,273 (2.3)	カイアシ類の ノブリス 期幼生 1,940 (2.3)	オンケ属の コヘボテイト 期幼生 1,907 (2.2)	ミクロセテラ ノルベシカ 2,236 (2.1)	カイアシ類の ノブリス 期幼生 1,480 (1.7)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－7 魚 卵 調 査 結 果 （令和6年11月）

調査年月日：令和6年11月22日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	2	2	2	2	2	2	2
個数(個/1000m ³)	110	559	633	436	654	521	486
主 要 種 ^{注2)} 個数 (%)	ネズッポ科 99 (90.0)	カタクチイワシ 294 (52.6)	ネズッポ科 573 (90.5)	ネズッポ科 337 (77.3)	カタクチイワシ 406 (62.1)	カタクチイワシ 462 (88.7)	ネズッポ科 264 (54.3)
	カタクチイワシ 11 (10.0)	ネズッポ科 265 (47.4)	カタクチイワシ 60 (9.5)	カタクチイワシ 99 (22.7)	ネズッポ科 248 (37.9)	ネズッポ科 59 (11.3)	カタクチイワシ 222 (45.7)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－8 稚 仔 魚 調 査 結 果 （令和6年11月）

調査年月日：令和6年11月22日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	6	5	5	6	7	7	9
個数(個/1000m ³)	236	268	164	190	175	434	245
主 要 種 ^{注2)} 個数 (%)	ネズッポ科 79 (33.5)	カサゴ 100 (37.3)	ネズッポ科 74 (45.1)	ネズッポ科 84 (44.2)	ネズッポ科 66 (37.7)	ネズッポ科 247 (56.9)	ネズッポ科 106 (43.4)
	カタクチイワシ 70 (29.7)	ネズッポ科 86 (32.1)	カサゴ 40 (24.4)	カタクチイワシ 45 (23.7)	カタクチイワシ 60 (34.3)	カタクチイワシ 137 (31.6)	カタクチイワシ 63 (25.8)
	カサゴ 42 (17.8)	イソギンボ 40 (14.9)	カタクチイワシ 27 (16.5)	イソギンボ 39 (20.5)	イソギンボ 29 (16.6)	カサゴ 34 (7.8)	カサゴ 40 (16.2)
	イソギンボ 25 (10.6)	カタクチイワシ 40 (14.9)	イソギンボ 16 (9.8)	カサゴ 15 (7.9)	カレイ目 9 (5.1)	カレイ目 8 (1.8)	イソギンボ 26 (10.4)
	カレイ目 18 (7.6)	ハゼ科 2 (0.7)	ダルマガレイ科 7 (4.3)	ハゼ科 5 (2.6)	カサゴ 6 (3.4)	イソギンボ 4 (0.9)	カレイ目 6 (2.5)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－9 底生生物調査結果（令和6年11月）

調査期日：令和6年11月22日

項目	調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	軟体動物門	1	1	3	2	1		4
	環形動物門	7	4	6	4	3	2	7
	節足動物門			1				1
	その他	1					1	2
	合計	9	5	10	6	4	3	14
個体数	軟体動物門	1	1	6	2	1		2
	環形動物門	576	193	182	145	24	2	187
	節足動物門			2				<1
	その他	1					2	1
	合計	578	194	190	147	25	4	190
個体構成比 (%)	軟体動物門	0.2	0.5	3.2	1.4	4.0		1.0
	環形動物門	99.7	99.5	95.8	98.6	96.0	50.0	98.6
	節足動物門			1.1				0.2
	その他	0.2					50.0	0.3
	合計							
湿重量 (g)	軟体動物門	+	0.01	0.02	0.04	0.01		0.01
	環形動物門	6.28	2.32	3.49	3.50	0.39	+	2.66
	節足動物門			0.03				0.01
	その他	0.01					+	+
	合計	6.29	2.33	3.54	3.54	0.40	+	2.68
主要種 ^{注2)} 個体数 (%)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 551 (95.3)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 185 (95.4)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 170 (89.5)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 141 (95.9)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 17 (68.0)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 17 (68.0)	紐形動物門 2 (50.0)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 178 (93.6)
	ハナカキ ^ラ コ ^ラ カイ 10 (1.7)	ナリウロコムシ科 5 (2.6)	ナリウロコムシ科 4 (2.1)	ナリウロコムシ科 2 (1.4)	イトエラスピオ 4 (16.0)	イトエラスピオ 4 (16.0)	オウギゴカイ 1 (25.0)	ナリウロコムシ科 3 (1.7)
	ナリウロコムシ科 5 (0.9)	オウギゴカイ 2 (1.0)	ケントリガイ 3 (1.6)	チゴトリガイ 1 (0.7)	ナリウロコムシ科 3 (12.0)	ナリウロコムシ科 3 (12.0)	ハラブ ^ラ リオスビ ^ラ オ属 (A型) 1 (25.0)	ハナカキ ^ラ コ ^ラ カイ 2 (1.2)
	イトエラスピオ 4 (0.7)	チゴトリガイ 1 (0.5)	ハナカキ ^ラ コ ^ラ カイ 3 (1.6)	シズクガイ 1 (0.7)	シズクガイ 1 (4.0)	シズクガイ 1 (4.0)		オウギゴカイ 1 (0.7)
	シガンブラ属 3 (0.5)	ハナカキ ^ラ コ ^ラ カイ 1 (0.5)	オウギゴカイ 3 (1.6)	シガンブラ属 1 (0.7)				イトエラスピオ 1 (0.7)
				オウギゴカイ 1 (0.7)				

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。

3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

単位：1. 個体数の単位は個体/0.1m²、湿重量の単位はg/0.1m²。

2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 10 (1) 付着生物観察結果(ベルトトランセクト法)(令和6年11月)

門			種名 \ 調査月日 調査点	11月8日	
				14	15
植 物	被度観察	緑藻植物門	アサ属	1	r
			シオクサ属	4	r
		紅藻植物門	ウスカワニテ		r
			ビリヒバ	r	
			マクサ		r
			ムカデノリ科	r	r
			イギス科	1	2
		藍藻植物門	藍藻綱	7	2
	植 物 種 類 数			6	7
動 物	被度観察	刺胞動物	リザンギア科	r	r
		触手動物	フォロニス属	5	r
		苔虫動物	コケムシ綱	3	4
		軟体動物	オオヒナガイ	4	4
			ムラサキガイ	2	
			ミドリガイ		r
			イボカギ科	3	
			キクザルガイ科	3	1
		環形動物	ミスヒキコカイ科	r	
			カンザシコカイ科	18	20
		節足動物	イワフシツボ		2
			サンカクフシツボ	r	1
			アメリカフシツボ	1	1
			ヨーロッパフシツボ	5	3
			ヨコエビ類の泥巢	9	14
		原索動物	シロボヤ	r	r
			群体性ヤリ類	r	
			単体性ヤリ類		r
	個体数観察	刺胞動物	イソギンチャク目		2
		軟体動物	ヒサラガイ		1
			マツバガイ		2
			ベッコウカサ	1	2
			コモレビコカモカイ	6	
			シメノウツネガイ	1	4
			ムギガイ		1
			レイシガイ	2	1
			イボニシ	29	37
			裸鰓目	2	
			キクノハナガイ	4	1
		棘皮動物	サンショウウ	25	16
	動 物 種 類 数			23	24

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。

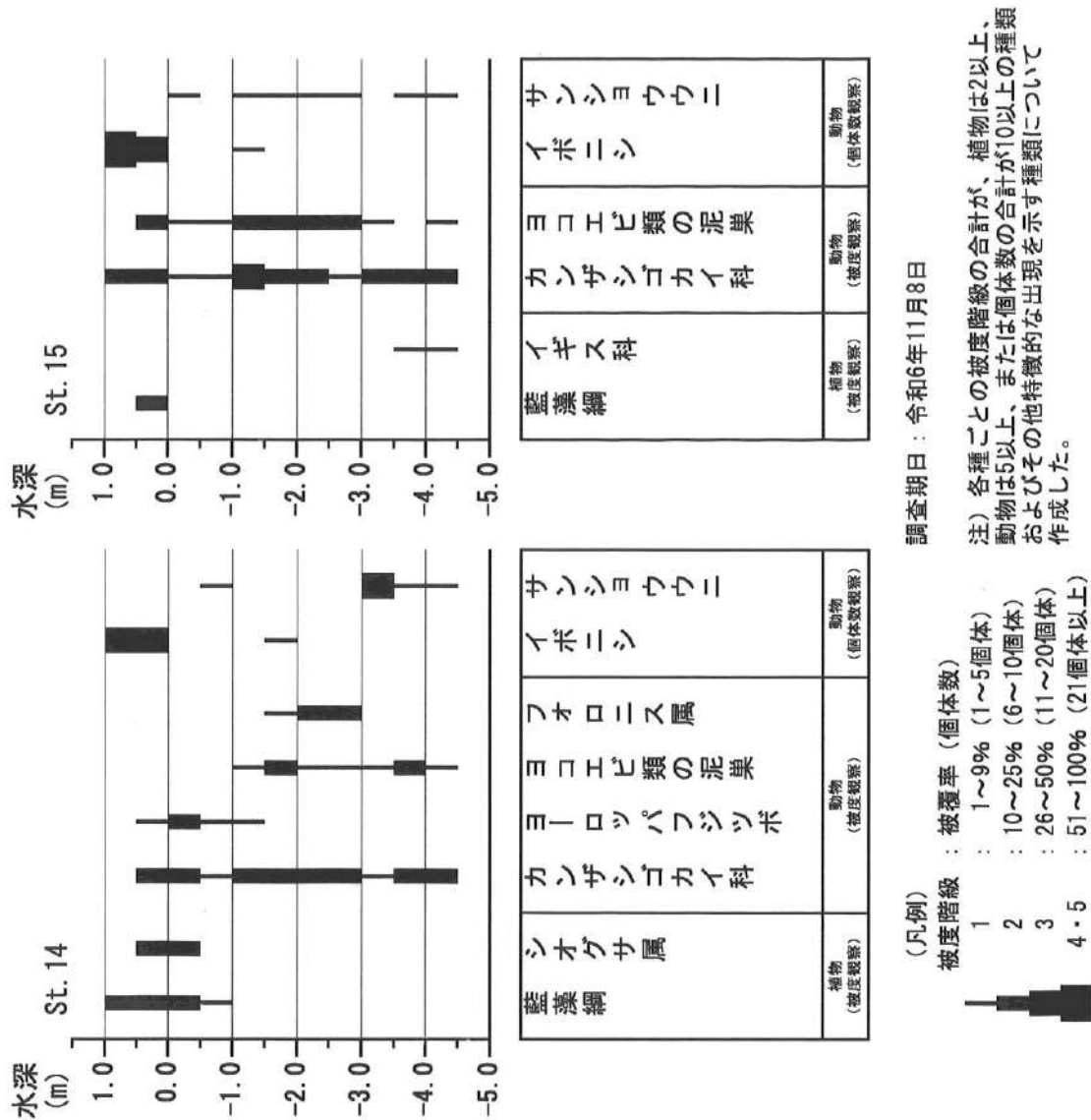


図 1 - 2 主な付着生物の鉛直分布 (令和6年11月)

表 1－10（2） 付着生物観察結果（坪刈り：植物）（令和6年11月）

項目		調査点 14				調査点 15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	緑藻植物門	2	4	3	5	2	4	2	4	5
	褐藻植物門		1	1	1					1
	紅藻植物門	1	1	1	2		1	1	2	3
	その他の	2	2		2	2		2	2	2
	合計	5	8	5	10	4	5	5	8	11
湿重量 (g)	緑藻植物門	+	0.2	+	0.2	+	+	+	+	+
	褐藻植物門		+	+	+					+
	紅藻植物門	+	+	+	+		+	+	+	+
	その他の	+	+		+	+		+	+	+
	合計	+	0.2	+	0.2	+	+	+	+	+
湿構成 重量比 (%)	緑藻植物門		100.0		100.0					100.0
	褐藻植物門		<0.1		<0.1					<0.1
	紅藻植物門		<0.1		<0.1					<0.1
	その他の		<0.1		<0.1					<0.1
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)			シオグサ属 0.1 (50.0) ツユノイト科 0.1 (50.0)		シオグサ属 0.1 (50.0) ツユノイト科 0.1 (50.0)					

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。

3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。

2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－10（3） 付着生物観察結果（坪刈り：動物）（令和6年11月）

調査点 項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	軟体動物門	13	7	9	21	14	13	6	19	26
	環形動物門	12	14	14	23	12	13	13	20	23
	節足動物門	10	10	6	17	10	14	10	21	25
	そ の 他	2	6	5	6	2	7	5	8	10
	合 計	37	37	34	67	38	47	34	68	84
個体数	軟体動物門	114	336	122	572	100	121	17	238	135
	環形動物門	70	176	717	963	200	178	319	697	277
	節足動物門	74	251	194	519	213	432	71	716	206
	そ の 他	5	53	44	102	9	85	69	163	44
	合 計	263	816	1,077	2,156	522	816	476	1,814	662
個体構成比	軟体動物門	43.3	41.2	11.3	26.5	19.2	14.8	3.6	13.1	20.4
	環形動物門	26.6	21.6	66.6	44.7	38.3	21.8	67.0	38.4	41.8
	節足動物門	28.1	30.8	18.0	24.1	40.8	52.9	14.9	39.5	31.1
(%)	そ の 他	1.9	6.5	4.1	4.7	1.7	10.4	14.5	9.0	6.7
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	モリス`ヨコエビ`科	ウスアラシオウガ`イ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	シリケンウミセミ属	イゾコエビ`属	エゾ`オササキ`シ	エゾ`オササキ`シ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	
	38 (14.4)	177 (21.7)	488 (45.3)	575 (26.7)	114 (21.8)	77 (9.4)	182 (38.2)	200 (11.0)	104 (15.7)	
	ウスアラシオウガ`イ	コウロエンカリヒバ`リガ`イ	ウスアラシオウガ`イ	ウスアラシオウガ`イ	ヤッコカンギ`ショ`カイ	オシロイ`属	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	シリケンウミセミ属	ウスアラシオウガ`イ	
	35 (13.3)	146 (17.9)	102 (9.5)	314 (14.6)	63 (12.1)	76 (9.3)	49 (10.3)	158 (8.7)	68 (10.2)	
	マガキ	ヨーロッパ`フジ`ウバ`	アリカフジ`ウバ`	コウロエンカリヒバ`リガ`イ	ヒメ`ンケイ`ニ	多岐腸目	イタビ`ンチャク目	イゾコエビ`属	エゾ`オササキ`シ	
	34 (12.9)	76 (9.3)	77 (7.1)	149 (6.9)	58 (11.1)	76 (9.3)	42 (8.8)	114 (6.3)	47 (7.0)	
	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	エゾ`オササキ`シ	アリカフジ`ウバ`	エウラリア属	アリカフジ`ウバ`	イゾコエビ`属	多岐腸目	アリカフジ`ウバ`	
	19 (7.2)	68 (8.3)	72 (6.7)	133 (6.2)	26 (5.0)	75 (9.2)	37 (7.8)	100 (5.5)	35 (5.3)	
	ヤッコカンギ`ショ`カイ	アリカフジ`ウバ`	オシロイ`属	ヨーロッパ`フジ`ウバ`	ネイ`イラ属	ウスアラシオウガ`イ	オキント`ロムス属	ウスアラシオウガ`イ	多岐腸目	
	17 (6.5)	56 (6.9)	68 (6.3)	113 (5.2)	22 (4.2)	69 (8.5)	26 (5.5)	92 (5.1)	30 (4.5)	

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注 1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。
 3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－10（4） 付着生物観察結果（坪刈り：動物（湿重量））（令和6年11月）

調査点 項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
湿重量	軟体動物門	43.6	15.7	2.5	61.8	6.3	10.3	0.5	17.1	13.2
	環形動物門	0.3	1.0	3.4	4.7	2.5	1.1	3.8	7.4	2.0
	節足動物門	0.8	38.0	16.7	55.5	3.9	50.6	1.2	55.7	18.5
	そ の 他	0.2	0.7	0.2	1.1	0.2	1.0	0.1	1.3	0.4
	合 計	44.9	55.4	22.8	123.1	12.9	63.0	5.6	81.5	34.1
(g)										
湿構成比	軟体動物門	97.1	28.3	11.0	50.2	48.8	16.3	8.9	21.0	38.6
	環形動物門	0.7	1.8	14.9	3.8	19.4	1.7	67.9	9.1	5.9
	節足動物門	1.8	68.6	73.2	45.1	30.2	80.3	21.4	68.3	54.3
(%)	そ の 他	0.4	1.3	0.9	0.9	1.6	1.6	1.8	1.6	1.2
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)	マガキ	アリカフジ`ウバ`	アリカフジ`ウバ`	アリカフジ`ウバ`	スベ`スベ`オキ`ガ`ニ	アリカフジ`ウバ`	エゾ`オササキ`シ	アリカフジ`ウバ`	アリカフジ`ウバ`	
	38.5 (85.7)	28.6 (51.6)	14.0 (61.4)	42.6 (34.6)	2.8 (21.7)	38.0 (60.3)	2.3 (41.1)	38.1 (46.7)	13.5 (39.4)	
	イボニシ	コウロエンカリヒバ`リガ`イ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	マガキ	セミアサリ	イボニシ	ナデ`シコカンギ`ショ`カイ	イボニシ	マガキ	
	3.3 (7.3)	10.2 (18.4)	2.4 (10.5)	38.5 (31.3)	1.9 (14.7)	5.6 (8.9)	0.9 (16.1)	7.1 (8.7)	6.4 (18.8)	
	ウスアラシオウガ`イ	ヨーロッパ`フジ`ウバ`	ウスアラシオウガ`イ	コウロエンカリヒバ`リガ`イ	イボニシ	タテ`マツ`ウバ`	スベ`スベ`オキ`ガ`ニ	スベ`スベ`オキ`ガ`ニ	ウスアラシオウガ`イ	
	0.7 (1.6)	6.3 (11.4)	2.3 (10.1)	10.4 (8.4)	1.5 (11.6)	5.5 (8.7)	0.7 (12.5)	5.7 (7.0)	1.8 (5.3)	
	カタ`ヒサ`ラガ`属	ウスアラシオウガ`イ	ヨーロッパ`フジ`ウバ`	ウスアラシオウガ`イ	イタボガキ科	オシロイ`属	ウスアラシオウガ`イ	タテ`マツ`ウバ`	コウロエンカリヒバ`リガ`イ	
	0.6 (1.3)	4.9 (8.8)	1.4 (6.1)	7.9 (6.4)	1.5 (11.6)	3.0 (4.8)	0.5 (8.9)	5.6 (6.9)	1.8 (5.2)	
	スベ`スベ`オキ`ガ`ニ	タテ`マツ`ウバ`	オシロイ`属	ヨーロッパ`フジ`ウバ`	ヤッコカンギ`ショ`カイ	ウスアラシオウガ`イ	オシロイ`属	オシロイ`属	イボニシ	
	0.3 (0.7)	2.1 (3.8)	1.3 (5.7)	7.7 (6.3)	0.9 (7.0)	2.2 (3.5)	0.3 (5.4)	3.4 (4.2)	1.7 (5.1)	

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－1 m

- 注 1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 11 (1) 漁業生物調査結果(刺網) (令和6年11月)

調査年月日：令和6年11月21～22日

項目 \ 調査点		16	17	平 均
種類数	魚 類	5	3	6
	甲殻類	2	1	2
	頭足類			
	その他		1	1
	合 計	7	5	9
個体数	魚 類	28	16	22
	甲殻類	3	4	4
	頭足類			
	その他		1	1
	合 計	31	21	26
湿重量 (g)	魚 類	14,891.0	15,335.0	15,113.0
	甲殻類	152.5	578.1	365.3
	頭足類			
	その他		30.4	15.2
	合 計	15,043.5	15,943.5	15,493.5

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

表 1 - 11 (2) 漁業生物調査結果(刺網) (令和6年11月)

調査年月日：令和6年11月21～22日

調査年月日：令和6年11月21～22日

項目 \ 調査点		16	17	平 均	
主要種	個体数（組成比％）	魚類	アカエイ 23 （ 74.2）	アカエイ 13 （ 61.9）	アカエイ 18 （ 69.2）
			シロギス 2 （ 6.5）	シロギス 2 （ 9.5）	シロギス 2 （ 7.7）
			カサゴ 1 （ 3.2）	キジハタ 1 （ 4.8）	カサゴ 1 （ 1.9）
			コショウダイ 1 （ 3.2）		キジハタ 1 （ 1.9）
			クロダイ 1 （ 3.2）		コショウダイ 1 （ 1.9）
					クロダイ 1 （ 1.9）
		甲殻類	タイワンガザミ 2 （ 6.5）	タイワンガザミ 4 （ 19.0）	タイワンガザミ 3 （ 11.5）
			キメンガニ 1 （ 3.2）		キメンガニ 1 （ 1.9）
				キヒトデ 1 （ 4.8）	キヒトデ 1 （ 1.9）
	湿重量（組成比％）	魚類	アカエイ 13,772.9 （ 91.6）	アカエイ 14,944.4 （ 93.7）	アカエイ 14,358.7 （ 92.7）
			クロダイ 709.1 （ 4.7）	キジハタ 339.0 （ 2.1）	クロダイ 354.6 （ 2.3）
			コショウダイ 239.4 （ 1.6）	シロギス 51.6 （ 0.3）	キジハタ 169.5 （ 1.1）
			カサゴ 91.7 （ 0.6）		コショウダイ 119.7 （ 0.8）
			シロギス 77.9 （ 0.5）		シロギス 64.8 （ 0.4）
		甲殻類	タイワンガザミ 141.3 （ 0.9）	タイワンガザミ 578.1 （ 3.6）	タイワンガザミ 359.7 （ 2.3）
			キメンガニ 11.2 （ 0.1）		キメンガニ 5.6 （ <0.1）
				キヒトデ 30.4 （ 0.2）	キヒトデ 15.2 （ 0.1）

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のものを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

陸 域 調 査 結 果

表 1-12 監視結果総括

				(泉大津基地 令和6年11月調査結果)		
測 定 点				A	B	C
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			11月22日	11月22日	11月22日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,222	984	410
		最 小 時 間 交 通 量		2,055	582	186
		総 交 通 量		24,172	8,240	3,202
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	4	1	2
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0
		総 交 通 量		22	2	10
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.0
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			11月22日	11月22日	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	69.9 ～ 71.4	68.2 ～ 71.8	—
		時 間 平 均 値		71	70	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		67 ～ 70	64 ～ 68	—
		時 間 平 均 値		68	66	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		40 ～ 47	35 ～ 39	—
時 間 平 均 値		44		38	—	
大 気 質	調 査 日			11月22日～28日	11月22日～28日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.002 ～ 0.003	0.002 ～ 0.004	—
		期間平均値		0.002	0.003	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.008 ～ 0.030	0.006 ～ 0.022	—
		期間平均値		0.018	0.013	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.003 ～ 0.014	0.003 ～ 0.015	—
		期間平均値		0.008	0.007	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	1.2～3.6	0.8～2.3	—
		期間平均値		2.0	1.4	—
	風 向	最多風向	16方位	WSW	SSW	—

表 1－13 交通量・騒音・振動調査結果

(泉大津基地周辺 令和6年11月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注4)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)		L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/ 全車両	注5)								
A 注6)	令和6年 11月22日	8:00	788	2,136	2,924	26.9	2	0	0.1	0.3	76	70	60	71.3	44	42	40	自動車
		9:00	928	1,350	2,278	40.7	4	0	0.2	0.4	75	68	58	70.3	45	42	40	自動車
		10:00	1,144	1,320	2,464	46.4	4	0	0.2	0.3	77	67	58	71.3	47	43	40	自動車
		11:00	986	1,170	2,156	45.7	2	0	0.1	0.2	77	67	58	71.4	46	42	40	自動車
		12:00	871	1,284	2,155	40.4	1	0	0.0	0.1	77	67	60	71.4	45	38	32	自動車
		13:00	717	1,338	2,055	34.9	3	0	0.1	0.4	76	67	59	69.9	43	37	33	自動車
		14:00	850	1,344	2,194	38.7	4	0	0.2	0.5	76	68	60	70.8	44	38	33	自動車
		15:00	871	1,362	2,233	39.0	1	0	0.0	0.1	76	68	60	71.1	44	38	33	自動車
		16:00	703	1,788	2,491	28.2	1	0	0.0	0.1	76	69	61	71.2	45	38	33	自動車
	17:00	438	2,784	3,222	13.6	0	0	0.0	0.0	76	69	60	71.1	40	34	30	自動車	
合計	8,296	15,876	24,172	—	22	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平均	830	1,588	2,417	34.3	2.2	0	0.1	0.3	76	68	59	71	44	39	35	—		
B 注6)	令和6年 11月22日	8:00	252	732	984	25.6	0	0	0.0	0.0	75	67	58	69.5	37	31	26	自動車
		9:00	336	372	708	47.5	0	0	0.0	0.0	75	68	61	70.6	37	33	28	自動車
		10:00	450	318	768	58.6	0	0	0.0	0.0	75	67	60	69.8	37	34	29	自動車
		11:00	523	456	979	53.4	1	0	0.1	0.2	78	67	61	71.8	39	34	29	自動車
		12:00	438	396	834	52.5	0	0	0.0	0.0	78	66	58	71.8	38	32	27	自動車
		13:00	288	294	582	49.5	0	0	0.0	0.0	77	65	56	70.6	38	32	27	自動車
		14:00	469	336	805	58.3	1	0	0.1	0.2	77	66	59	70.7	39	33	28	自動車
		15:00	426	420	846	50.4	0	0	0.0	0.0	77	65	59	70.7	39	32	27	自動車
		16:00	438	522	960	45.6	0	0	0.0	0.0	76	65	59	70.1	38	31	27	自動車
	17:00	198	576	774	25.6	0	0	0.0	0.0	74	64	58	68.2	35	28	<25	自動車	
合計	3,818	4,422	8,240	—	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平均	382	442	824	46.3	0.2	0	0.0	0.1	76	66	59	70	38	32	27	—		
C 注7)	令和6年 11月22日	8:00	102	84	186	54.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	242	168	410	59.0	2	0	0.5	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	206	162	368	56.0	2	0	0.5	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	180	204	384	46.9	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	110	234	344	32.0	2	0	0.6	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	146	168	314	46.5	2	0	0.6	1.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	181	126	307	59.0	1	0	0.3	0.6	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	127	180	307	41.4	1	0	0.3	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	84	168	252	33.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	17:00	72	258	330	21.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	1,450	1,752	3,202	—	10	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
平均	145	175	320	45.3	1.0	0	0.3	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—		

注:1) 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

:2) 表中の振動レベルの「<25」は、振動計の測定下限値25dB未満であることを示す。

:3) 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。なお、振動レベルの「<25」については、25dBとして計算した。

:4) 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:5) 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

:6) 測定点A、Bの廃棄物車数については、堺基地への搬入車両を含む。

:7) 令和3年3月末で廃棄物及び浚渫土砂の受入を終了していることから、測定点Cにおける廃棄物車数は陸上残土運搬車数のみを指す。

大気質調査結果

表 1－14 二酸化硫黄測定結果 （令和6年11月22日～11月28日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月22日（金）	0.003	0.004	0.004	0.006
	11月23日（土）	0.002	0.003	0.003	0.003
	11月24日（日）	0.002	0.003	0.003	0.003
	11月25日（月）	0.002	0.003	0.003	0.004
	11月26日（火）	0.002	0.003	0.003	0.005
	11月27日（水）	0.002	0.003	0.003	0.005
	11月28日（木）	0.002	0.002	0.002	0.003
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.002		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.003		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.004		0.006	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1－15 二酸化窒素測定結果 （令和6年11月22日～11月28日）

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月22日（金）	0.019	0.046	0.013	0.026
	11月23日（土）	0.008	0.015	0.008	0.016
	11月24日（日）	0.011	0.023	0.010	0.022
	11月25日（月）	0.029	0.045	0.022	0.038
	11月26日（火）	0.030	0.049	0.021	0.049
	11月27日（水）	0.012	0.022	0.010	0.023
	11月28日（木）	0.014	0.027	0.006	0.009
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.018		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.030		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.049		0.049	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 、 0.06ppm 以 下 の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 1 - 17 一酸化窒素測定結果 (令和6年11月22日～11月28日)

測 定 点		A		B	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月22日 (金)	0.027	0.089	0.012	0.025
	11月23日 (土)	0.011	0.024	0.008	0.016
	11月24日 (日)	0.013	0.025	0.009	0.022
	11月25日 (月)	0.044	0.216	0.023	0.038
	11月26日 (火)	0.048	0.089	0.021	0.049
	11月27日 (水)	0.015	0.034	0.009	0.023
	11月28日 (木)	0.020	0.047	0.005	0.009
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.025		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.048		0.023	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.216		0.049	

表 1 - 17 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和6年11月22日～11月28日)

測 定 点		A			B		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	11月22日 (金)	0.046	41.1	0.135	0.025	50.7	0.051
	11月23日 (土)	0.019	40.6	0.039	0.016	50.7	0.032
	11月24日 (日)	0.023	45.7	0.044	0.019	50.2	0.044
	11月25日 (月)	0.073	39.5	0.261	0.045	48.0	0.076
	11月26日 (火)	0.078	39.0	0.137	0.042	50.3	0.098
	11月27日 (水)	0.028	44.6	0.056	0.019	50.4	0.046
	11月28日 (木)	0.034	41.9	0.073	0.011	50.6	0.018
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.043			0.025		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.078			0.045		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.261			0.098		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		40.9			49.8		

表 1-18 浮遊粒子状物質測定結果 (令和6年11月22日～11月28日)

測 定 点		A		B	
項 目		日平均値 (mg/m^3)	1 時間値の 最高値 (mg/m^3)	日平均値 (mg/m^3)	1 時間値の 最高値 (mg/m^3)
日 別 値	11月22日 (金)	0.014	0.026	0.015	0.026
	11月23日 (土)	0.004	0.009	0.007	0.045
	11月24日 (日)	0.003	0.009	0.003	0.008
	11月25日 (月)	0.007	0.012	0.005	0.015
	11月26日 (火)	0.010	0.026	0.007	0.021
	11月27日 (水)	0.011	0.020	0.007	0.013
	11月28日 (木)	0.007	0.016	0.007	0.015
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m^3)		0.008		0.007	
日平均値の最高値 (mg/m^3)		0.014		0.015	
1 時間値の最高値 (mg/m^3)		0.026		0.045	
1 時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0		0	

表 1-19 風向・風速観測結果 (令和6年11月22日～11月28日)

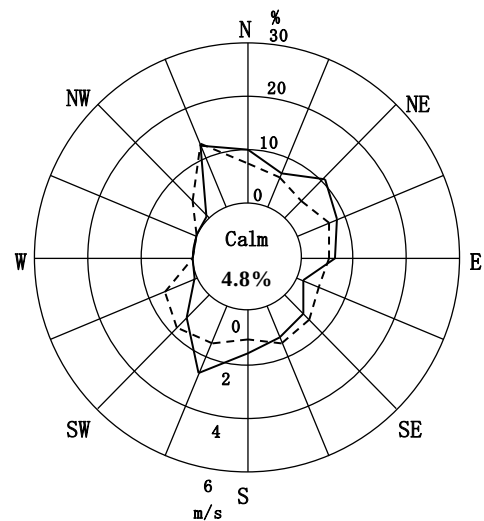
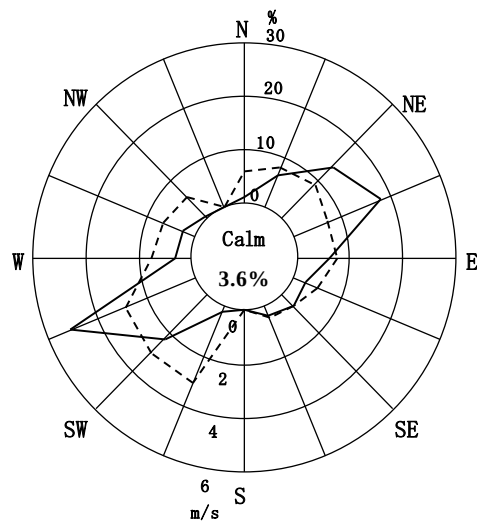
測 定 点		A				B				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	11月22日 (金)	1.7	3.2	WSW	WSW	1.4	4.1	NNW	S	晴時々曇
	11月23日 (土)	1.6	2.4	NE	ENE	2.3	4.2	NNW	NNW	晴
	11月24日 (日)	1.3	2.9	NNE	NE	0.8	1.7	ENE, N	NE	曇時々晴一時雨
	11月25日 (月)	1.2	3.0	NE	ENE	0.9	2.3	ENE	ENE	晴
	11月26日 (火)	1.7	3.4	E	ENE	1.2	4.0	SSE	NE	曇後雨
	11月27日 (水)	2.6	4.5	WSW	WSW	1.4	2.0	NE	NNE	曇後一時晴
	11月28日 (木)	3.6	6.0	SW	SW	1.7	3.1	SW	SSW	晴一時雨
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		2.0			—	1.4			—	
期間最大風速 (m/s)		6.0			—	4.2			—	
期間最多風向 (16方位)		—			WSW	—			SSW	

表 1-20 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年11月22日～11月28日)

(泉大津基地 令和6年11月調査結果)

測定点		A			B		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	2	1.2	1.2	17	10.1	1.5
	NNE	11	6.5	1.6	12	7.1	1.2
	NE	23	13.7	1.8	18	10.7	0.9
	ENE	30	17.9	1.4	14	8.3	1.3
	E	10	6.0	1.5	11	6.5	1.1
	ESE	4	2.4	1.0	2	1.2	0.9
	SE	5	3.0	0.6	8	4.8	1.3
	SSE	3	1.8	0.5	10	6.0	1.4
	S	—	—	—	13	7.7	1.0
	SSW	2	1.2	3.1	22	13.1	1.4
	SW	19	11.3	3.0	10	6.0	1.7
	WSW	43	25.6	2.9	1	0.6	1.3
	W	5	3.0	1.5	—	—	—
	WNW	4	2.4	1.3	—	—	—
	NW	1	0.6	1.1	1	0.6	0.9
	NNW	—	—	—	21	12.5	2.6
calm		6	3.6	0.2	8	4.8	0.2
total		168	100.0	2.0	168	100.0	1.4

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

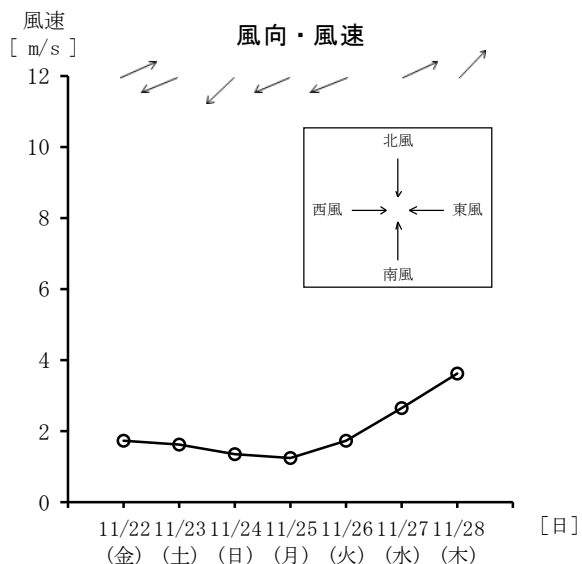
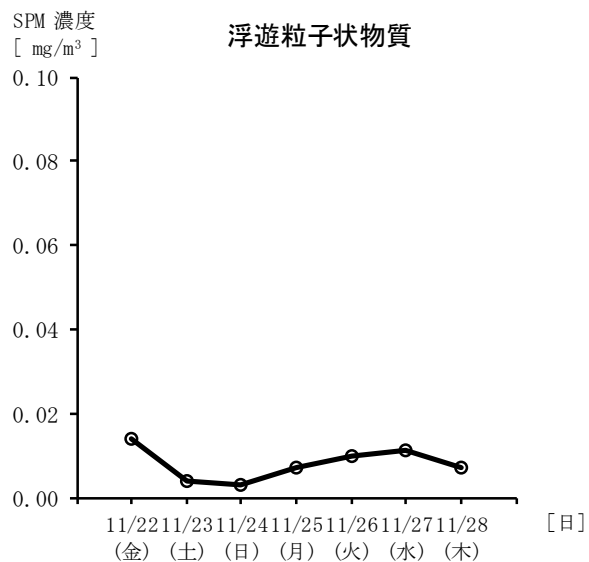
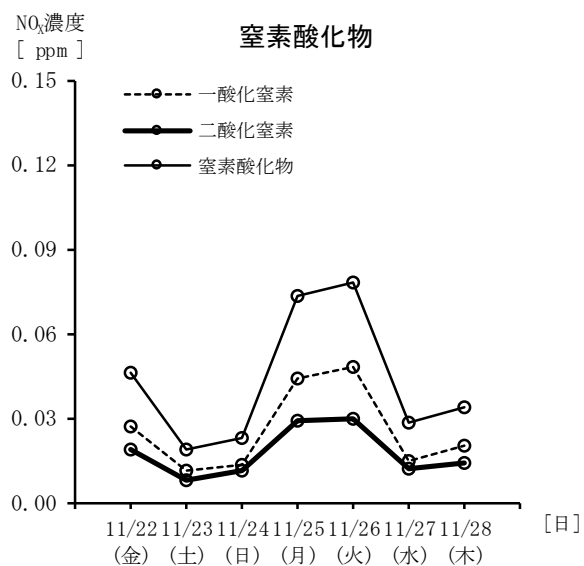
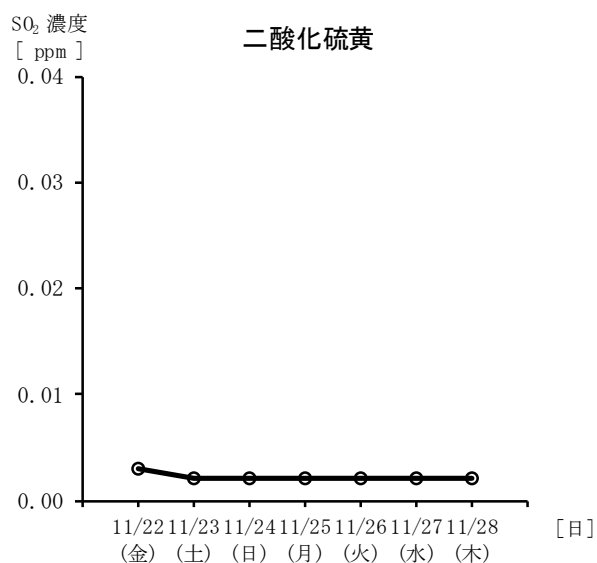


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 A

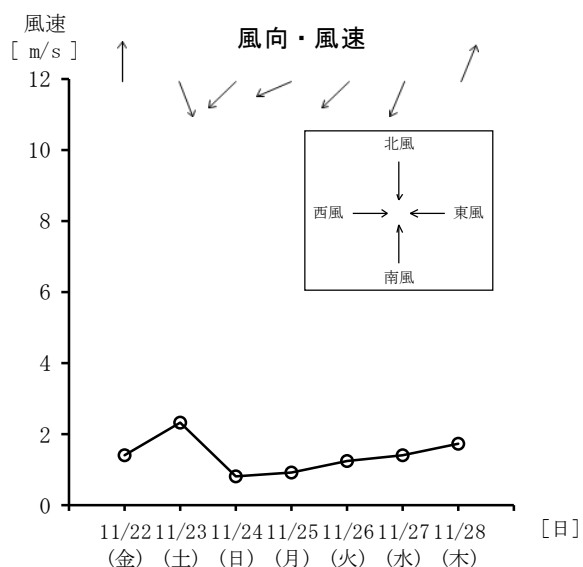
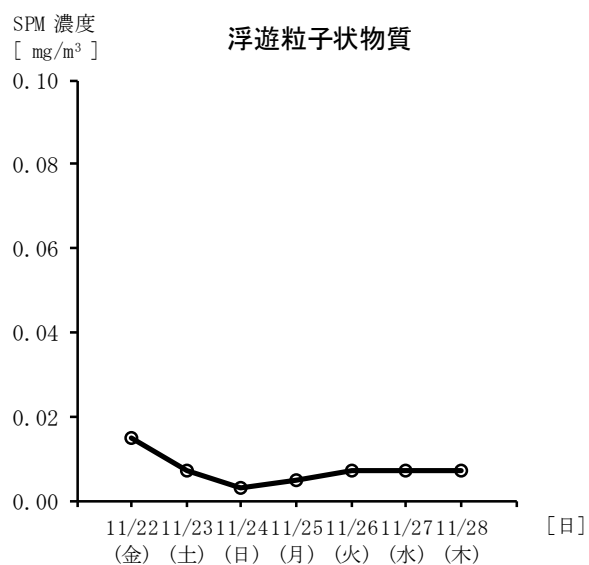
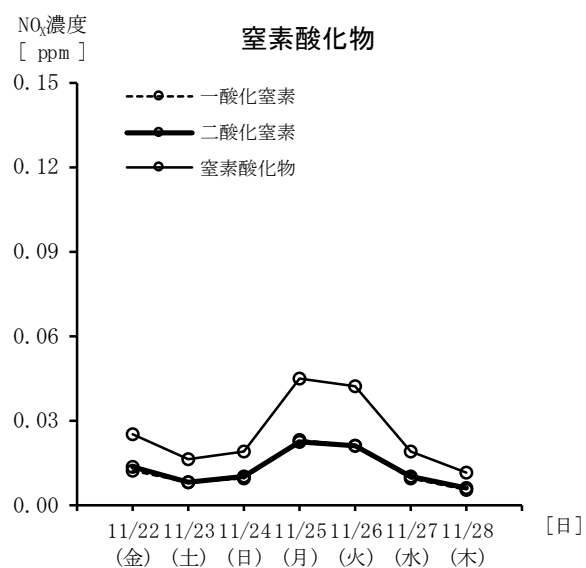
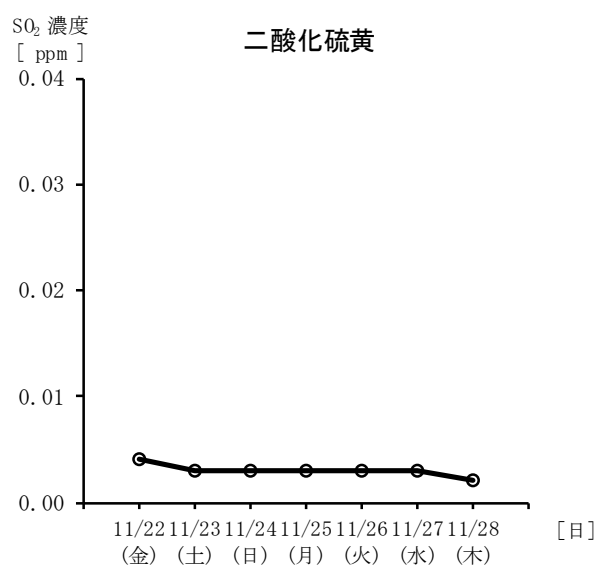
測定点 B

図 1-3 風配図と風向別平均風速 (令和6年11月22日～11月28日)



測定点 A

図 1 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月22日～11月28日)



測定点 B

図 1 - 5 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月22日～11月28日)

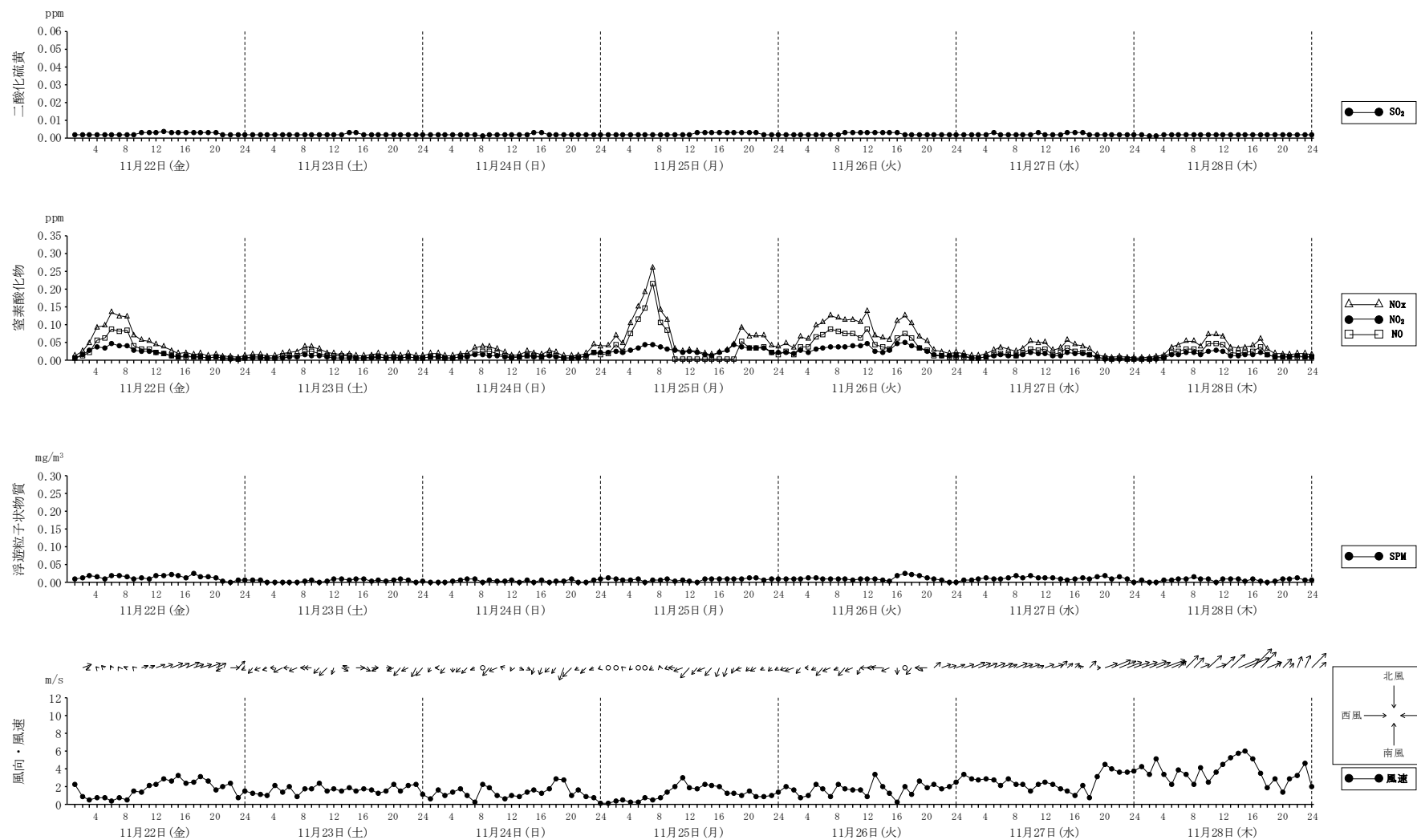


図 1－6 大気質・気象時系列変化図 （令和6年11月22日～11月28日） 測定点 A

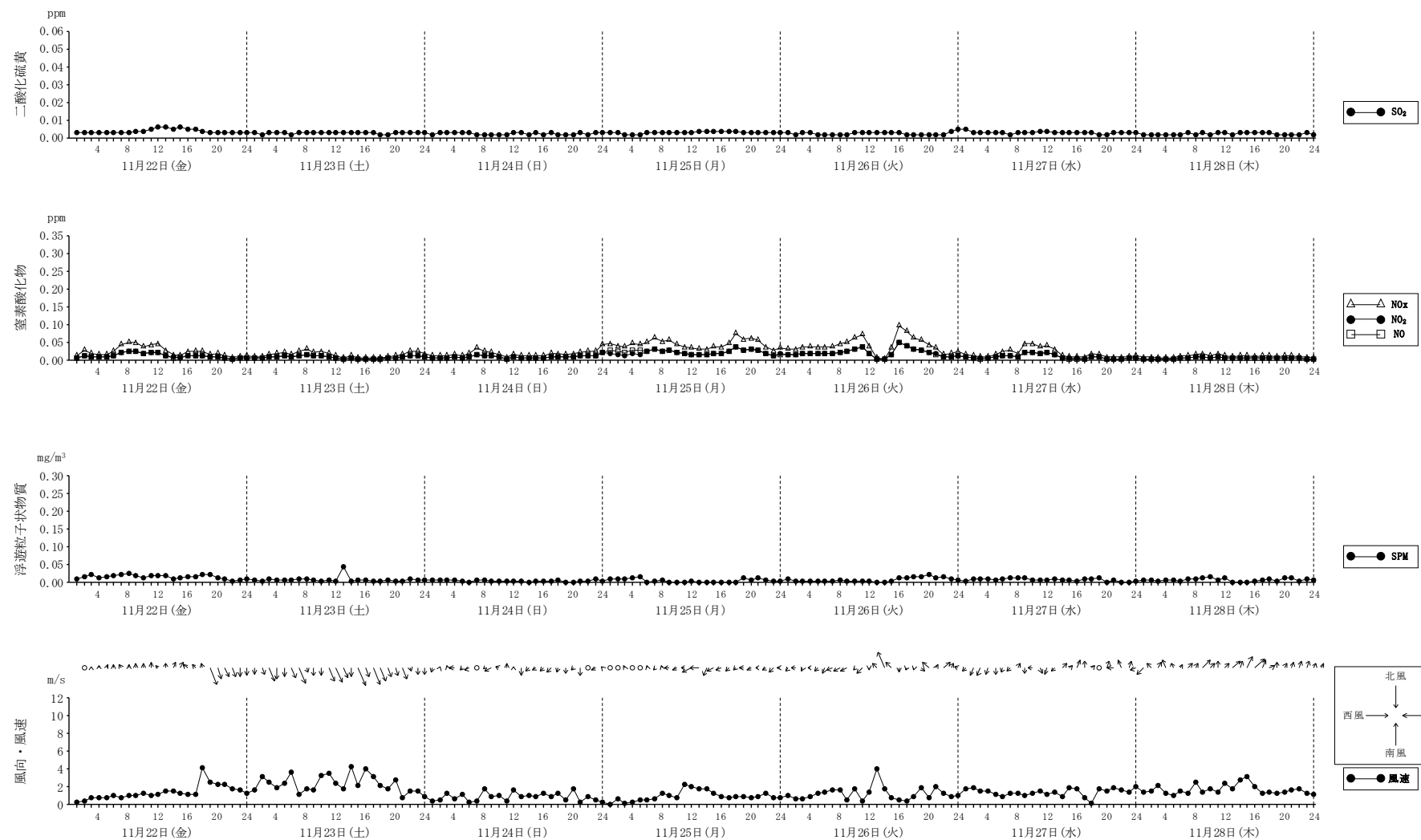


図 1－7 大気質・気象時系列変化図 （令和6年11月22日～11月28日） 測定点 B

大 阪 基 地

Ⅱ 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注)})	No. 1 No. 2	3 地点	10時間 (毎正時10分間)	11月6日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})	No. 4		10時間 (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No. 2 No. 3	2 地点	10時間 (毎正時10分間)	11月6日 8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 2 No. 3	2 地点	1 週間 (連続)	11月6日 0時30分～ 11月13日 0時30分

注) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1.2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

(1) 交通量 (表2-1、表2-2)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は 771～1,619台、廃棄物車の時間交通量は 0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 26台/10hrで、総交通量(12,722台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は 1,008～1,362台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 4台/10hrで、総交通量(11,530台/10hr)に占める割合は

0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は 112～210台、廃棄物車の時間交通量は 0～28台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 144台/10hrで、総交通量(1,476台/10hr)に占める割合は 9.8%であった。

(2) 騒音・振動 (表 2-1、表 2-2)

① 騒音

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 68.5～69.9dB(平均69dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 65～67dB(平均66dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No.3)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 54.3～58.9dB(平均57dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 49～53dB(平均52dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(65dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点No.2では 41～48dB(平均46dB)であり、測定点No.3では 34～40dB(平均38dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(65dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表 2-1、表 2-3～表 2-9)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は 1.9m/secであった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No.3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東であり、平均風速は 2.2m/secであった。

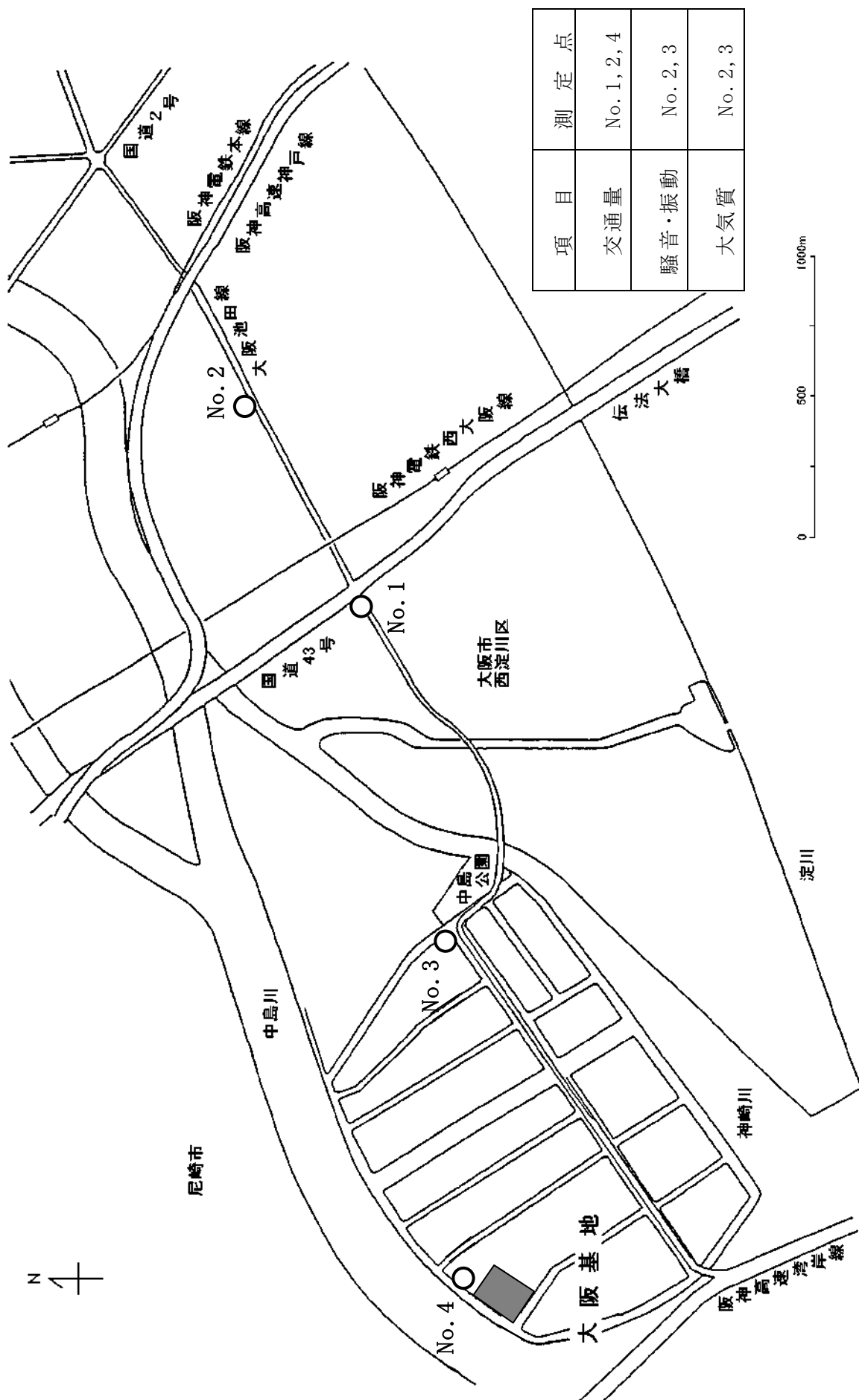


図 2 - 1 環境監視調査地点位置図（大阪基地）

2 環境監視結果

表 2 - 1 監視結果総括

				(大阪基地 令和6年11月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			11月6日	11月6日	11月6日	11月6日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	1,619	1,362	—	210
		最 小 時 間 交 通 量		771	1,008	—	112
		総 交 通 量		12,722	11,530	—	1,476
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	6	2	—	28
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	—	0
		総 交 通 量		26	4	—	144
廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.2	0.0	—	9.8
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	11月6日	11月6日	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 間 値	(dB)	—	68.5 ～ 69.9	54.3 ～ 58.9	—
		時 間 平 均 値		—	69	57	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 間 値		—	65 ～ 67	49 ～ 53	—
		時 間 平 均 値		—	66	52	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 間 値		—	41 ～ 48	34 ～ 40	—
		時 間 平 均 値		—	46	38	—
大 気 質	調 査 日			—	11月6日～12日	11月6日～12日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	—	0.002～0.003	0.002～0.004	—
		期間平均値		—	0.003	0.003	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	—	0.003～0.017	0.005～0.022	—
		期間平均値		—	0.009	0.011	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	—	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	—	0.003～0.011	0.011～0.017	—
		期間平均値		—	0.007	0.013	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	—	1.4～3.0	1.6～3.4	—
		期間平均値		—	1.9	2.2	—
	風 向	最多風向	16方位	—	N	E	—

表 2 - 2 交通量・騒音・振動調査結果

(大阪基地 令和6年11月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全車 両	注4)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1	令和6年 11月6日	8:00	650	786	1,436	45.3	2	0	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	796	823	1,619	49.2	5	1	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	928	426	1,354	68.5	4	0	0.3	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	828	456	1,284	64.5	6	0	0.5	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	596	475	1,071	55.6	3	1	0.3	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	398	373	771	51.6	3	1	0.4	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	692	582	1,274	54.3	2	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	589	600	1,189	49.5	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	858	726	1,584	54.2	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	360	780	1,140	31.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	6,695	6,027	12,722	—	26	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	670	603	1,272	52.6	2.6	0.3	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2	令和6年 11月6日	8:00	318	792	1,110	28.6	0	0	0.0	0.0	76	65	54	69.8	46	35	28	自動車
		9:00	456	708	1,164	39.2	0	0	0.0	0.0	75	66	52	69.2	46	37	29	自動車
		10:00	432	618	1,050	41.1	0	0	0.0	0.0	75	67	53	69.7	48	40	30	自動車
		11:00	421	804	1,225	34.4	1	0	0.1	0.2	74	66	56	68.9	45	38	30	自動車
		12:00	396	750	1,146	34.6	0	0	0.0	0.0	75	66	53	68.9	45	38	29	自動車
		13:00	337	678	1,015	33.2	1	0	0.1	0.3	74	66	59	69.3	48	37	31	自動車
		14:00	464	738	1,202	38.6	2	0	0.2	0.4	75	67	52	69.8	47	38	29	自動車
		15:00	360	888	1,248	28.8	0	0	0.0	0.0	75	66	56	69.1	46	37	29	自動車
		16:00	366	996	1,362	26.9	0	0	0.0	0.0	74	66	56	68.5	45	35	28	自動車
		17:00	150	858	1,008	14.9	0	0	0.0	0.0	75	65	56	69.9	41	32	26	自動車
	合計	3,700	7,830	11,530	—	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	370	783	1,153	32.1	0.4	0	0.0	0.1	75	66	55	69	46	37	29	—	
No.3	令和6年 11月6日	8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	62	52	48	57.6	38	33	30	自動車
		9:00	—	—	—	—	—	—	—	—	65	52	49	58.9	39	36	34	自動車
		10:00	—	—	—	—	—	—	—	—	62	51	48	57.2	40	35	32	自動車
		11:00	—	—	—	—	—	—	—	—	58	51	49	54.3	39	36	34	自動車
		12:00	—	—	—	—	—	—	—	—	60	49	47	54.7	37	33	29	自動車
		13:00	—	—	—	—	—	—	—	—	64	51	49	57.9	38	35	33	自動車
		14:00	—	—	—	—	—	—	—	—	59	53	50	55.2	39	36	34	自動車
		15:00	—	—	—	—	—	—	—	—	62	52	50	56.6	36	33	30	自動車
		16:00	—	—	—	—	—	—	—	—	67	53	50	58.8	39	36	34	自動車
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	63	52	49	57.5	34	30	27	自動車
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	52	49	57	38	34	32	—
No.4	令和6年 11月6日	8:00	40	78	118	33.9	4	0	3.4	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	94	48	142	66.2	28	0	19.7	29.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	69	48	117	59.0	27	0	23.1	39.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	80	72	152	52.6	26	6	17.1	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	64	74	138	46.4	18	2	13.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	61	109	170	35.9	26	1	15.3	41.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	39	73	112	34.8	10	1	8.9	23.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	99	62	161	61.5	5	2	3.1	3.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	54	102	156	34.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	30	180	210	14.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	630	846	1,476	—	144	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	63	85	148	42.7	14.4	1.2	9.8	21.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注:1) 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

:2) 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。

:3) 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:4) 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

大気質調査結果

表 2－3 二酸化硫黄測定結果 （令和6年11月6日～11月12日）

（大阪基地 令和6年11月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月6日（水）	0.003	0.005	0.003	0.004
	11月7日（木）	0.002	0.004	0.002	0.003
	11月8日（金）	0.003	0.006	0.003	0.005
	11月9日（土）	0.003	0.007	0.003	0.006
	11月10日（日）	0.003	0.007	0.004	0.012
	11月11日（月）	0.003	0.005	0.003	0.005
	11月12日（火）	0.003	0.006	0.003	0.005
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.003		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.003		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.007		0.012	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－4 二酸化窒素測定結果 （令和6年11月6日～11月12日）

（大阪基地 令和6年11月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月6日（水）	0.009	0.025	0.010	0.031
	11月7日（木）	0.003	0.005	0.005	0.014
	11月8日（金）	0.013	0.022	0.016	0.037
	11月9日（土）	0.011	0.021	0.011	0.028
	11月10日（日）	0.006	0.009	0.006	0.009
	11月11日（月）	0.008	0.017	0.010	0.022
	11月12日（火）	0.017	0.026	0.022	0.039
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.009		0.011	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.017		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.026		0.039	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の日数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2 - 5 一酸化窒素測定結果 (令和6年11月6日～11月12日)

(大阪基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月6日 (水)	0.002	0.010	0.006	0.034
	11月7日 (木)	0.001	0.002	0.004	0.018
	11月8日 (金)	0.005	0.011	0.009	0.064
	11月9日 (土)	0.003	0.013	0.006	0.031
	11月10日 (日)	0.001	0.003	0.002	0.005
	11月11日 (月)	0.002	0.011	0.009	0.056
	11月12日 (火)	0.004	0.012	0.012	0.040
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.003		0.007	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.005		0.012	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.013		0.064	

表 2 - 6 窒素酸化物 (NO+NO₂) 測定結果 (令和6年11月6日～11月12日)

(大阪基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	11月6日 (水)	0.011	77.9	0.033	0.015	63.7	0.065
	11月7日 (木)	0.004	71.7	0.007	0.010	55.7	0.028
	11月8日 (金)	0.018	74.5	0.032	0.025	62.5	0.099
	11月9日 (土)	0.014	78.2	0.034	0.017	67.4	0.059
	11月10日 (日)	0.007	82.1	0.012	0.008	73.7	0.011
	11月11日 (月)	0.010	77.6	0.028	0.020	52.5	0.078
	11月12日 (火)	0.021	79.4	0.034	0.034	63.6	0.069
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.012			0.018		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.021			0.034		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.034			0.099		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		77.6			62.3		

表 2－7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和6年11月6日～11月12日)

(大阪基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	11月6日 (水)	0.007	0.020	0.011	0.034
	11月7日 (木)	0.003	0.012	0.014	0.050
	11月8日 (金)	0.006	0.015	0.012	0.034
	11月9日 (土)	0.006	0.015	0.015	0.067
	11月10日 (日)	0.006	0.015	0.012	0.038
	11月11日 (月)	0.008	0.016	0.013	0.023
	11月12日 (火)	0.011	0.020	0.017	0.031
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m ³)		0.007		0.013	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.011		0.017	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.020		0.067	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		0	

表 2－8 風向・風速測定結果 (令和6年11月6日～11月12日)

(大阪基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 2				No. 3				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	11月6日 (水)	2.1	4.1	N	N	2.5	5.5	NE	ENE	晴後曇
	11月7日 (木)	3.0	5.5	N	N	3.4	6.1	E	E	晴後一時曇
	11月8日 (金)	1.4	2.4	N	N	1.6	3.0	E	E	晴一時薄曇
	11月9日 (土)	1.7	3.3	N	NNE	2.0	3.5	E	E	晴
	11月10日 (日)	1.9	2.6	NNE, ENE	NNE	2.2	2.9	ESE, SE	SE	曇一時晴
	11月11日 (月)	1.7	3.4	N	N	2.0	4.7	E	E	晴
	11月12日 (火)	1.5	2.8	WSW	N	1.8	3.6	NW	ESE	晴時々曇
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.9			—	2.2			—	
期間最大風速 (m/s)		5.5			—	6.1			—	
期間最多風向 (16方位)		—			N	—			E	

注 1) 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

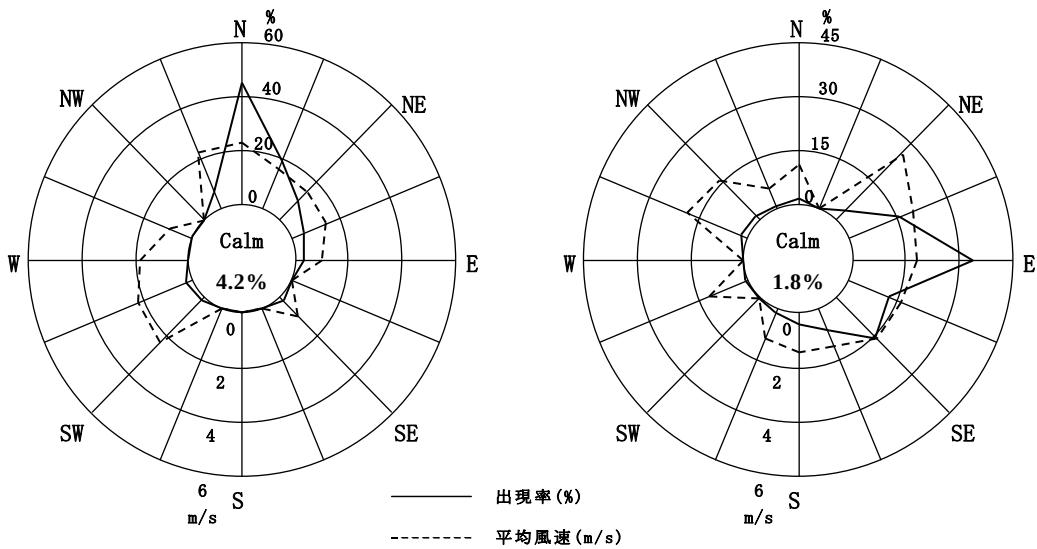
2) 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果(昼：6:00～18:00)から引用した。

表 2 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年11月6日～11月12日)

(大阪基地 令和6年11月調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	76	45.2	2.3	3	1.8	1.5
	NNE	33	19.6	1.6	—	—	—
	NE	17	10.1	1.5	6	3.6	3.5
	ENE	8	4.8	1.4	26	15.5	2.6
	E	5	3.0	1.0	57	33.9	2.4
	ESE	—	—	—	21	12.5	2.1
	SE	3	1.8	1.0	26	15.5	2.1
	SSE	—	—	—	11	6.5	1.4
	S	—	—	—	5	3.0	1.4
	SSW	—	—	—	2	1.2	1.1
	SW	2	1.2	2.3	—	—	—
	WSW	4	2.4	2.2	1	0.6	1.6
	W	1	0.6	1.8	—	—	—
	WNW	1	0.6	0.9	3	1.8	2.5
	NW	—	—	—	3	1.8	2.1
	NNW	11	6.5	2.3	1	0.6	0.8
calm		7	4.2	0.1	3	1.8	0.2
total		168	100.0	1.9	168	100.0	2.2

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

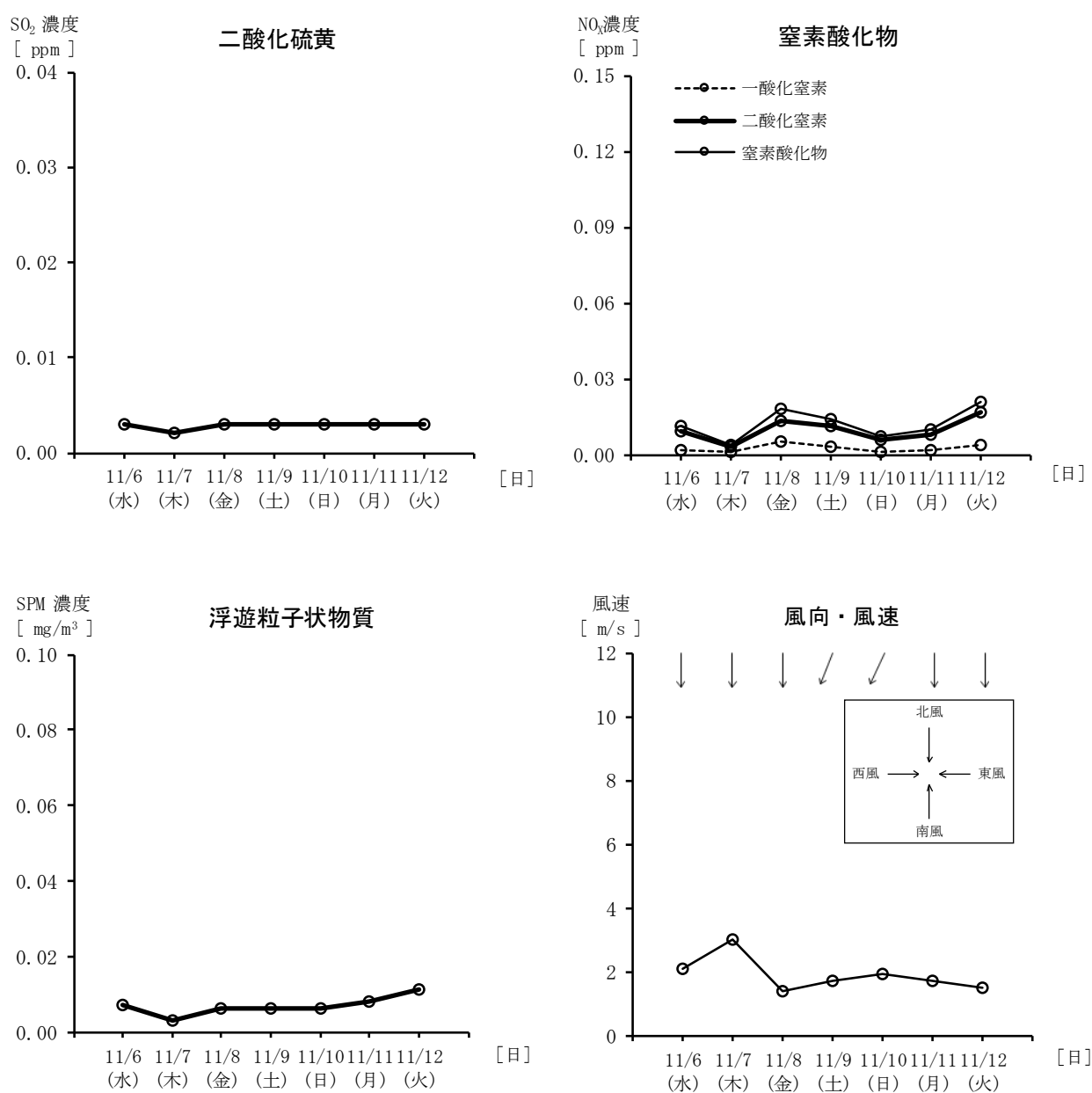


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

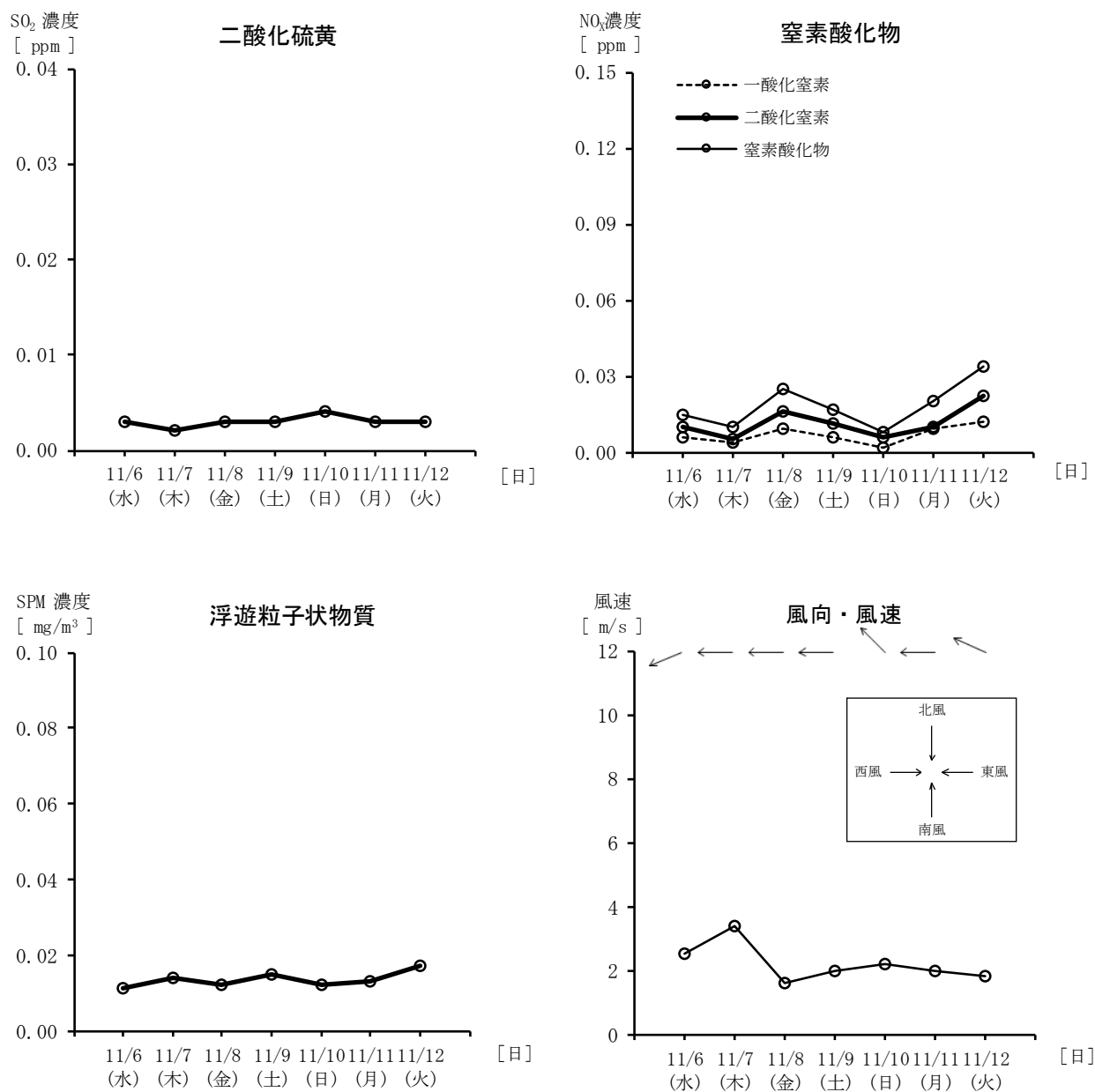
測定点 No. 3

図 2 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和6年11月6日～11月12日)



測定点 No. 2

図 2 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月6日～11月12日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月6日～11月12日)

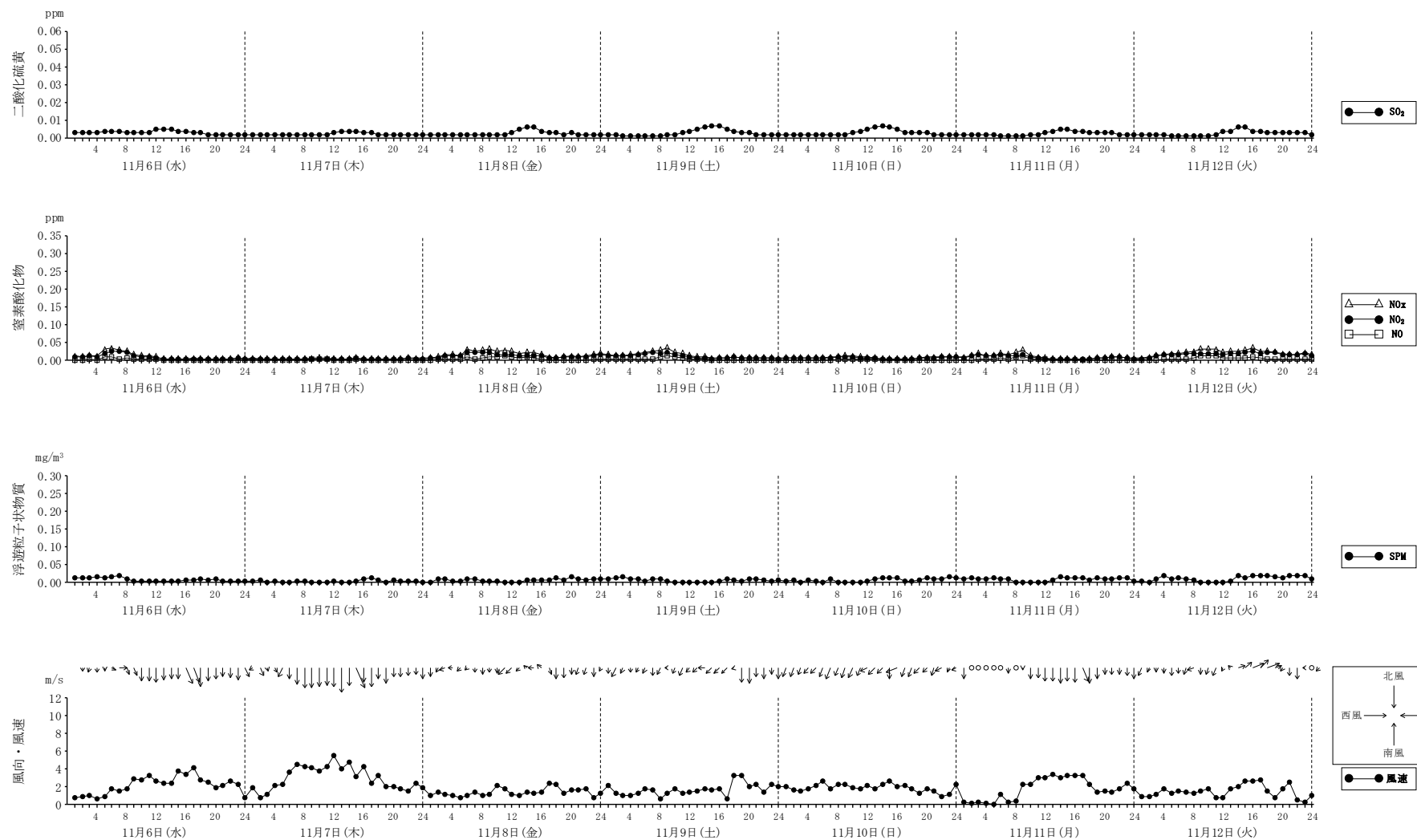


図 2 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和6年11月6日～11月12日) 測定点 No. 2

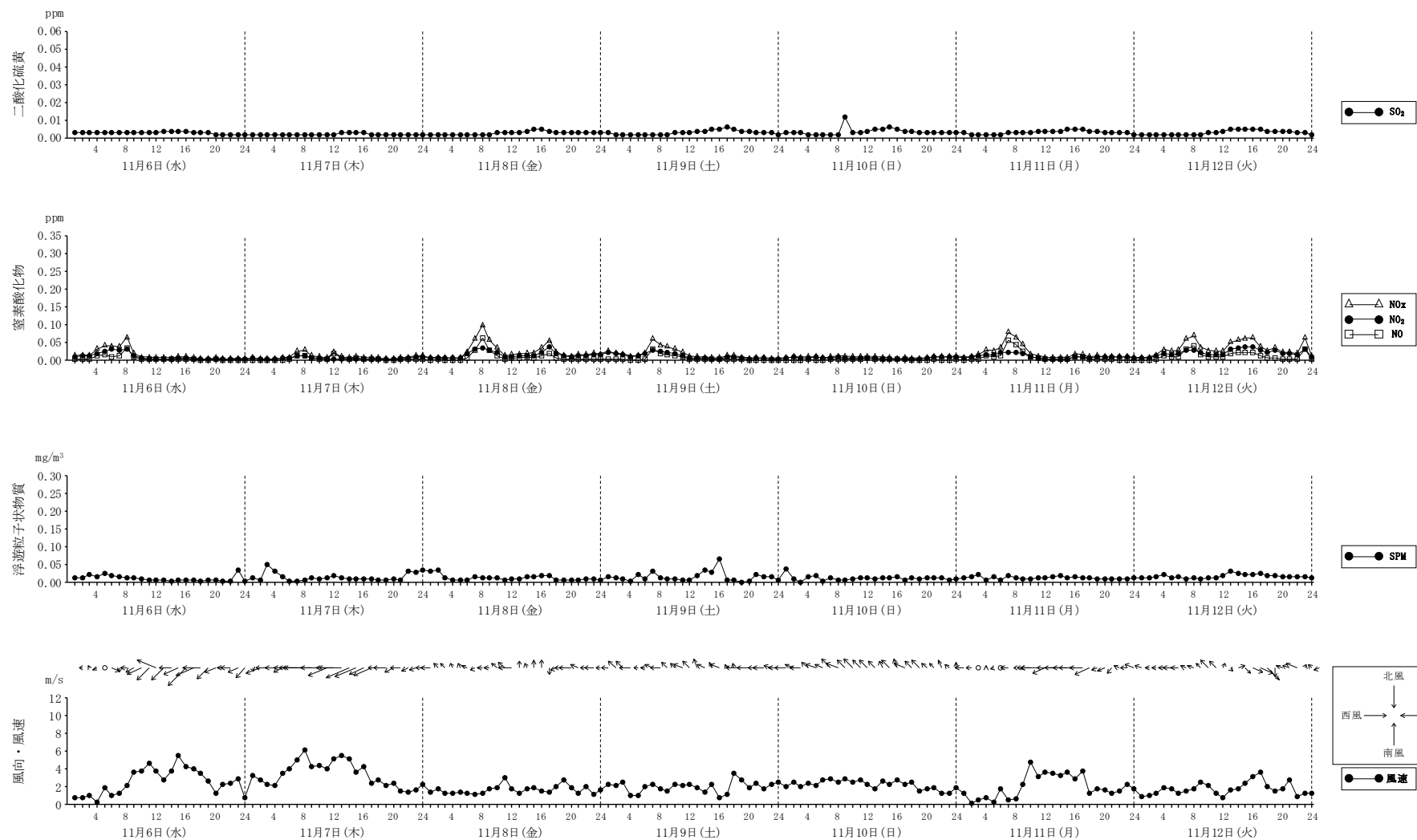


図 2 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和6年11月6日～11月12日) 測定点 No.3

堺 基 地

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和6年11月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注1)})	No. 1 No. 2	4地点	10時間 ^{注2)} (毎正時10分間)	11月14日8時～18時 ^{注2)}
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1)})	No. 3 No. 4		10時間 ^{注2)} (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No. 1 No. 2	2地点	10時間 (毎正時10分間)	11月14日8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 1 No. 2	2地点	1週間 (連続)	11月14日 0時30分～ 11月21日 0時30分

注1) 2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

注2) 測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が16時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

1.2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

(1) 交通量（表3-1、表3-2）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点（No.1）

時間交通量は 2,006～3,294台、廃棄物車の時間交通量は 0～5台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 12台/10hrで、総交通量(23,754台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点（No.2）

時間交通量は 1,033～1,562台、廃棄物車の時間交通量は 0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 8台/10hrで、総交通量(13,616台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいもの

のと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は 1,735～2,910台、廃棄物車の時間交通量は 0～4台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 15台/10hrで、総交通量(21,063台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 0～68台、廃棄物車の時間交通量は 0～62台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 227台/9hrで、総交通量(233台/9hr)に占める割合は 97.4%であった。

(2) 騒音・振動 (表 3-1、表 3-2)

① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 72.3～74.6dB(平均74dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 70～73dB(平均72dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)を上回り、要請限度(75dB)を下回った。

なお、この地点の主要音源は自動車走行騒音であるが、廃棄物車両の総交通量に占める割合が平均0.1%(0.0～0.2%)であるため、当センター事業の廃棄物車両による影響は小さいと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 63.4～66.7dB(平均65dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 60～63dB(平均61dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振 動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点No.1では43～48dB(平均47dB)であり、測定点No.2では38～42dB(平均40dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(No.1は65dB、No.2は70dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表3-1、表3-3～表3-9)

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は1.3m/secであった。

1) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は1.0m/secであった。

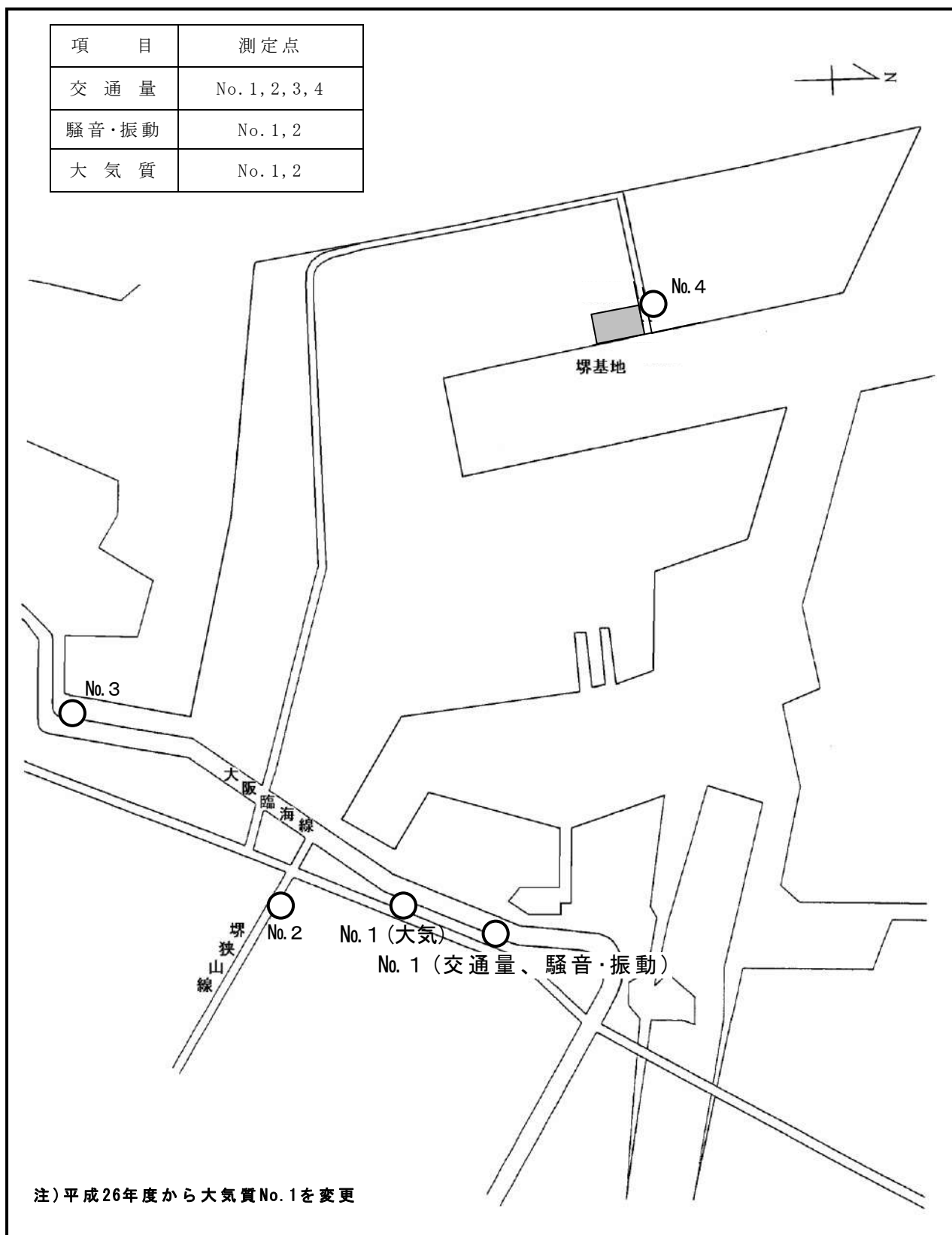


図 3 - 1 環境監視調査地点位置図（堺基地）

2 環境監視結果

表 3－1 監視結果総括

				(堺基地 令和6年11月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			11月14日	11月14日	11月14日	11月14日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,294	1,562	2,910	68
		最 小 時 間 交 通 量		2,006	1,033	1,735	0
		総 交 通 量		23,754	13,616	21,063	233
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	5	2	4	62
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0	0
		総 交 通 量		12	8	15	227
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.1	0.1
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			11月14日	11月14日	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	72.3 ～ 74.6	63.4 ～ 66.7	—	—
		時 間 平 均 値		74	65	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		70 ～ 73	60 ～ 63	—	—
		時 間 平 均 値		72	61	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		43 ～ 48	38 ～ 42	—	—
		時 間 平 均 値		47	40	—	—
大 気 質	調 査 日			11月14日～20日	11月14日～20日	—	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.003 ～ 0.005	0.002 ～ 0.003	—	—
		期間平均値		0.004	0.002	—	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.015 ～ 0.026	0.008 ～ 0.022	—	—
		期間平均値		0.019	0.014	—	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.009 ～ 0.025	0.004 ～ 0.024	—	—
		期間平均値		0.017	0.013	—	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	風 速	日平均値	(m/s)	0.9 ～ 2.2	0.4 ～ 2.6	—	—
		期間平均値		1.3	1.0	—	—
	風 向	最多風向	16方位	ENE	NNE	—	—

表 3 - 2 交通量・騒音・振動調査結果

(堺基地周辺 令和6年11月 結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)		L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全 車両	注4)								
No.1 注5)	令和6年 11月14日	8:00	608	1,488	2,096	29.0	2	0	0.1	0.3	77	70	62	72.3	45	41	38	自動車
		9:00	1,211	1,242	2,453	49.4	5	0	0.2	0.4	78	72	64	73.4	47	44	41	自動車
		10:00	1,278	1,200	2,478	51.6	0	0	0.0	0.0	79	73	65	74.2	48	45	42	自動車
		11:00	1,185	1,044	2,229	53.2	3	0	0.1	0.3	78	73	65	74.3	48	45	42	自動車
		12:00	1,104	1,272	2,376	46.5	0	0	0.0	0.0	78	72	64	73.5	48	45	40	自動車
		13:00	950	1,056	2,006	47.4	2	0	0.1	0.2	77	70	63	72.5	46	43	39	自動車
		14:00	1,170	1,080	2,250	52.0	0	0	0.0	0.0	78	72	66	73.8	47	44	41	自動車
		15:00	1,050	1,428	2,478	42.4	0	0	0.0	0.0	78	73	64	73.7	47	44	41	自動車
		16:00	702	1,392	2,094	33.5	0	0	0.0	0.0	77	72	65	73.4	46	42	39	自動車
		17:00	390	2,904	3,294	11.8	0	0	0.0	0.0	77	72	63	74.6	43	40	37	自動車
	合計	9,648	14,106	23,754	—	12	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	965	1,411	2,375	40.6	1.2	0	0.1	0.1	78	72	64	74	47	43	40	—	
No.2 注5)	令和6年 11月14日	8:00	247	786	1,033	23.9	1	0	0.1	0.4	72	61	50	65.3	38	30	27	自動車
		9:00	487	930	1,417	34.4	1	0	0.1	0.2	72	62	52	65.3	41	34	29	自動車
		10:00	440	906	1,346	32.7	2	0	0.1	0.5	70	60	52	64.3	40	33	30	自動車
		11:00	476	1,086	1,562	30.5	2	0	0.1	0.4	73	63	53	66.7	42	35	31	自動車
		12:00	336	1,182	1,518	22.1	0	0	0.0	0.0	69	60	50	63.4	39	33	30	自動車
		13:00	362	918	1,280	28.3	2	0	0.2	0.6	71	60	50	64.7	40	33	29	自動車
		14:00	408	882	1,290	31.6	0	0	0.0	0.0	70	61	53	64.0	40	34	30	自動車
		15:00	300	1,008	1,308	22.9	0	0	0.0	0.0	70	61	49	64.3	41	33	29	自動車
		16:00	306	1,068	1,374	22.3	0	0	0.0	0.0	70	62	52	64.4	40	33	28	自動車
		17:00	198	1,290	1,488	13.3	0	0	0.0	0.0	70	60	49	64.3	40	31	27	自動車
	合計	3,560	10,056	13,616	—	8	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	356	1,006	1,362	26.1	0.8	0	0.1	0.2	71	61	51	65	40	33	29	—	
No.3 注5)	令和6年 11月14日	8:00	576	1,855	2,431	23.7	1	1	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	931	1,026	1,957	47.6	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,155	1,021	2,176	53.1	4	1	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	1,075	1,033	2,108	51.0	2	1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	888	847	1,735	51.2	1	1	0.1	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	812	967	1,779	45.6	3	1	0.2	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	889	979	1,868	47.6	2	1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	679	1,242	1,921	35.3	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	600	1,578	2,178	27.5	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	468	2,442	2,910	16.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	8,073	12,990	21,063	—	15	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	807	1,299	2,106	38.3	1.5	0.6	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和6年 11月14日	8:00	16	0	16	100.0	16	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	58	10	68	85.3	62	4	91.2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	33	4	37	89.2	37	4	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	21	4	25	84.0	25	4	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	26	4	30	86.7	30	4	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	26	0	26	100.0	26	0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	17	2	19	89.5	19	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	10	2	12	83.3	12	2	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	0	0	0	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	207	26	233	—	227	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	23	3	26	88.8	25.2	2.2	97.4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:1) 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

:2) 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。

:3) 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

:4) 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

:5) 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

大気質調査結果

表 3－3 二酸化硫黄測定結果 （令和6年11月14日～11月20日）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月14日（木）	0.003	0.003	0.002	0.003
	11月15日（金）	0.005	0.008	0.003	0.005
	11月16日（土）	0.004	0.006	0.002	0.003
	11月17日（日）	0.005	0.011	0.002	0.003
	11月18日（月）	0.004	0.006	0.002	0.004
	11月19日（火）	0.003	0.004	0.002	0.003
	11月20日（水）	0.004	0.008	0.002	0.007
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.004		0.002	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.005		0.003	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.011		0.007	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0		0	

表 3－4 二酸化窒素測定結果 （令和6年11月14日～11月20日）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月14日（木）	0.015	0.028	0.015	0.029
	11月15日（金）	0.026	0.055	0.022	0.041
	11月16日（土）	0.020	0.038	0.015	0.030
	11月17日（日）	0.016	0.027	0.013	0.022
	11月18日（月）	0.018	0.036	0.008	0.015
	11月19日（火）	0.017	0.035	0.008	0.014
	11月20日（水）	0.022	0.050	0.017	0.038
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.019		0.014	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.026		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.055		0.041	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数（日）		0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0		0	

表 3－5 一酸化窒素測定結果 (令和6年11月14日～11月20日)

(堺基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	11月14日 (木)	0.005	0.017	0.005	0.009
	11月15日 (金)	0.014	0.054	0.010	0.037
	11月16日 (土)	0.008	0.042	0.005	0.020
	11月17日 (日)	0.005	0.012	0.004	0.008
	11月18日 (月)	0.013	0.040	0.002	0.007
	11月19日 (火)	0.010	0.023	0.002	0.006
	11月20日 (水)	0.012	0.034	0.008	0.023
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.010		0.005	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.014		0.010	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.054		0.037	

表 3－6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和6年11月14日～11月20日)

(堺基地 令和6年11月調査結果)

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	11月14日 (木)	0.020	75.1	0.044	0.020	77.2	0.036
	11月15日 (金)	0.040	64.9	0.109	0.032	68.5	0.067
	11月16日 (土)	0.028	71.1	0.080	0.020	75.4	0.050
	11月17日 (日)	0.021	75.4	0.039	0.016	77.3	0.030
	11月18日 (月)	0.030	58.6	0.076	0.010	76.8	0.022
	11月19日 (火)	0.027	63.9	0.057	0.010	77.7	0.018
	11月20日 (水)	0.034	64.3	0.084	0.025	66.8	0.061
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.029			0.019		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.040			0.032		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.109			0.067		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		66.7			72.9		

表 3－7 浮遊粒子状物質測定結果 （令和6年11月14日～11月20日）

(堺基地 令和6年11月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	11月14日（木）	0.025	0.042	0.024	0.042
	11月15日（金）	0.021	0.035	0.018	0.032
	11月16日（土）	0.024	0.042	0.021	0.040
	11月17日（日）	0.016	0.055	0.012	0.020
	11月18日（月）	0.010	0.025	0.005	0.013
	11月19日（火）	0.009	0.031	0.004	0.011
	11月20日（水）	0.013	0.046	0.010	0.032
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.017		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.025		0.024	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.055		0.042	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－8 風向・風速観測結果 （令和6年11月14日～11月20日）

(堺基地 令和6年11月調査結果)										
測 定 点		No. 1				No. 2				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方位)	風速			最多 風向 (16方位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	11月14日 (木)	1.2	2.2	NE	SE	0.5	1.8	NNE	NNE	晴後一時曇 曇後時々雨 曇一時雨 曇 晴 晴一時雨 晴
	11月15日 (金)	0.9	1.8	NE	ENE	0.6	1.7	NNE	NNE	
	11月16日 (土)	1.0	2.1	ENE, NE	ENE	0.4	1.9	NNE	NNE	
	11月17日 (日)	1.2	3.3	NE	W	1.0	3.1	NNE	WSW	
	11月18日 (月)	2.2	5.0	NE	N	2.6	4.1	NNE	NNE	
	11月19日 (火)	1.8	2.9	NE	NE	1.6	2.9	NNE	NNE	
	11月20日 (水)	1.0	1.7	NE	SE	0.4	1.6	NNE	N	
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.3			—	1.0			—	
期間最大風速 (m/s)		5.0			—	4.1			—	
期間最多風向 (16方位)		—			ENE	—			NNE	

注 1) 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

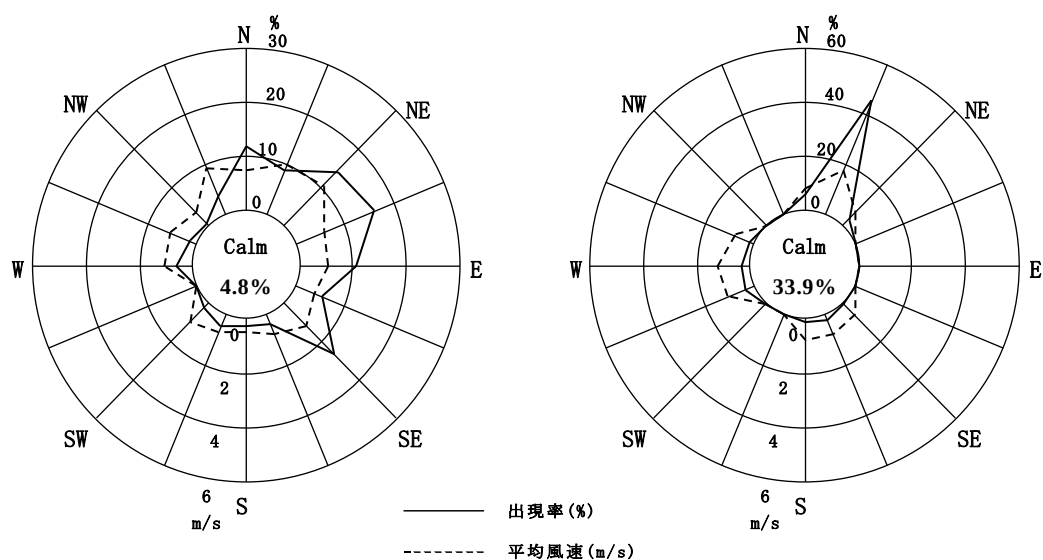
2) 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 3－9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和6年11月14日～11月20日)

(堺基地 令和6年11月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	20	11.9	1.5	10	6.0	0.8
	NNE	15	8.9	2.0	76	45.2	1.8
	NE	24	14.3	2.1	5	3.0	0.7
	ENE	27	16.1	1.2	—	—	—
	E	18	10.7	1.1	—	—	—
	ESE	9	5.4	0.8	—	—	—
	SE	22	13.1	1.2	1	0.6	0.6
	SSE	3	1.8	0.8	3	1.8	0.8
	S	2	1.2	0.5	2	1.2	0.8
	SSW	4	2.4	0.7	—	—	—
	SW	2	1.2	1.0	—	—	—
	WSW	—	—	—	6	3.6	1.1
	W	5	3.0	1.1	5	3.0	1.2
	WNW	2	1.2	1.1	3	1.8	0.8
	NW	1	0.6	0.7	—	—	—
	NNW	6	3.6	1.9	—	—	—
calm		8	4.8	0.3	57	33.9	0.1
total		168	100.0	1.3	168	100.0	1.0

注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

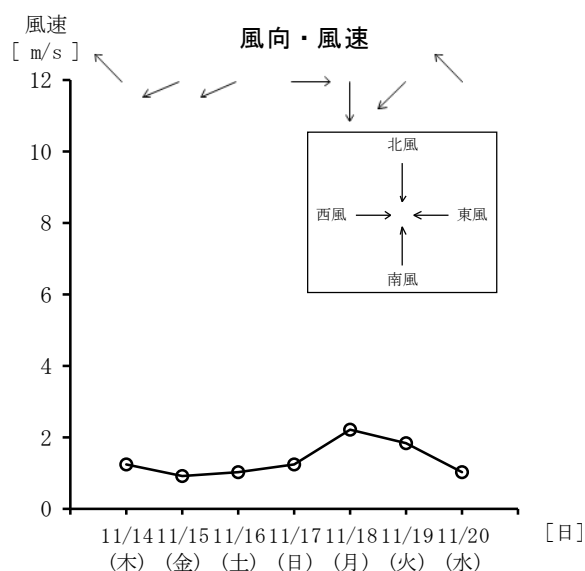
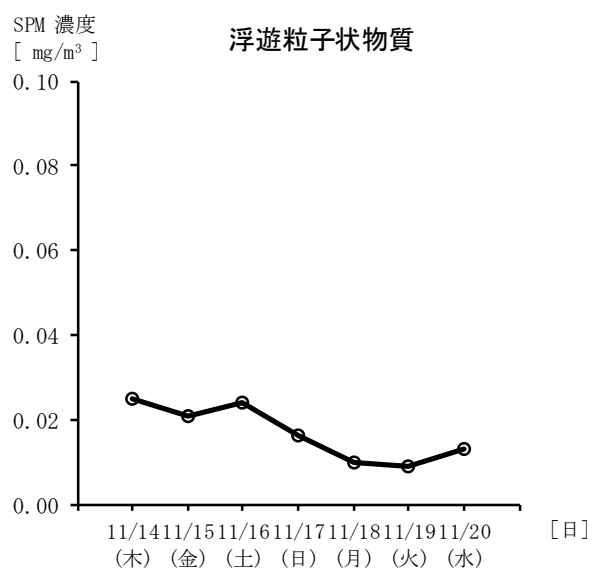
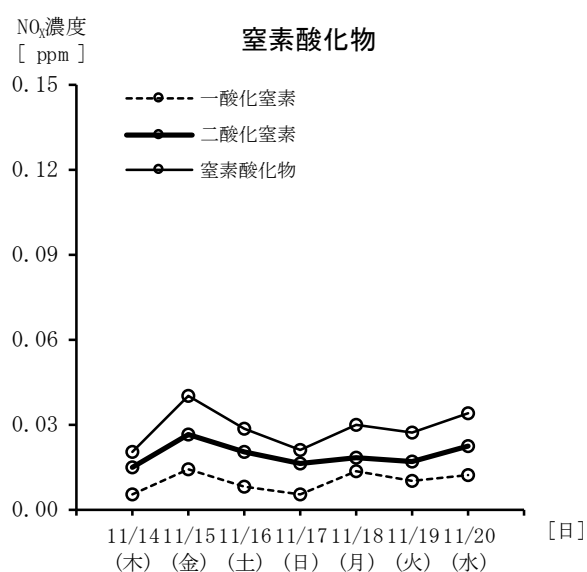
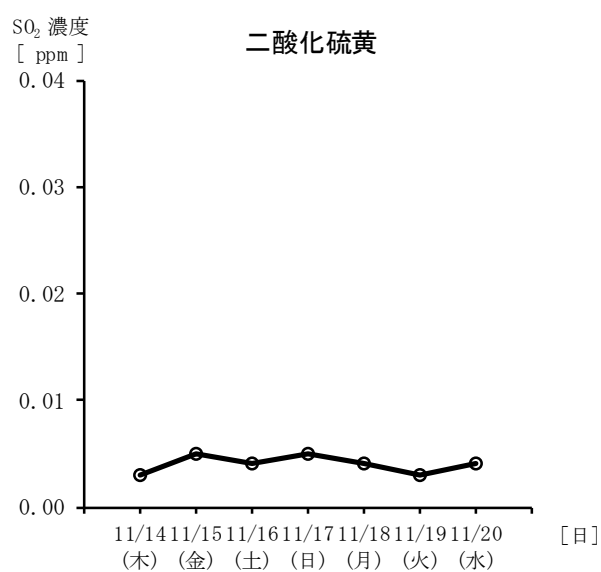


注) calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 1

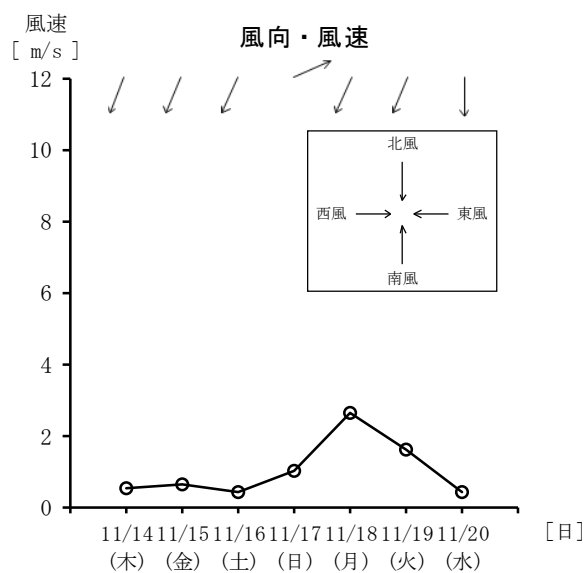
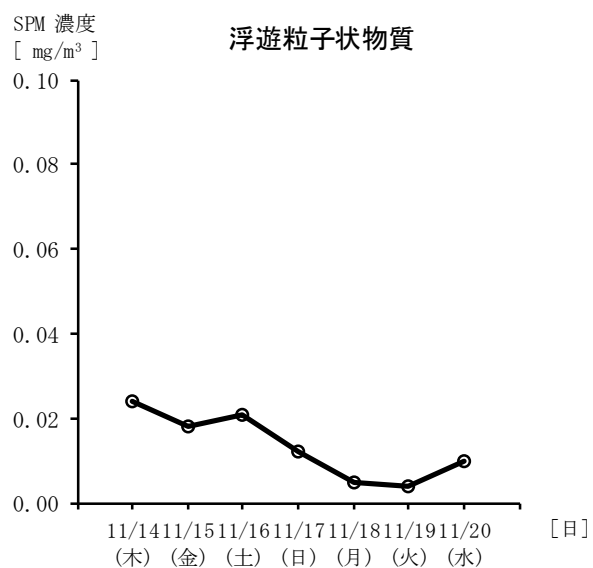
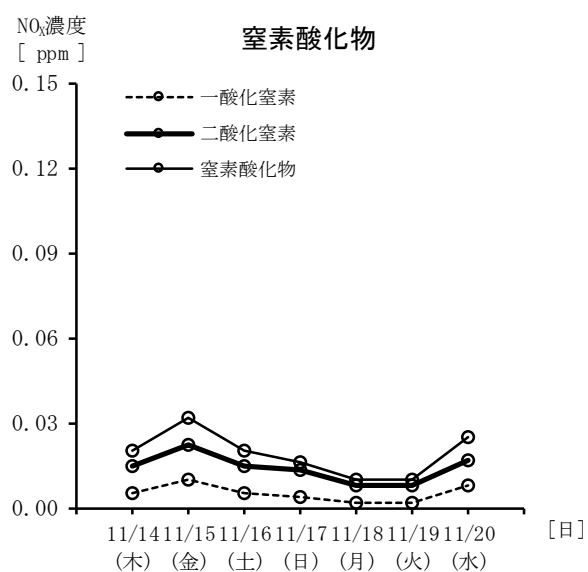
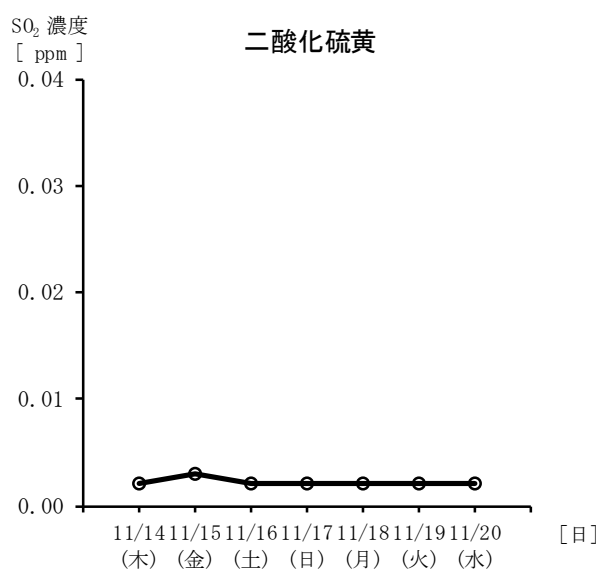
測定点 No. 2

図 3－2 風配図と風向別平均風速 (令和6年11月14日～11月20日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月14日～11月20日)



測定点 No. 2

図 3 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和6年11月14日～11月20日)

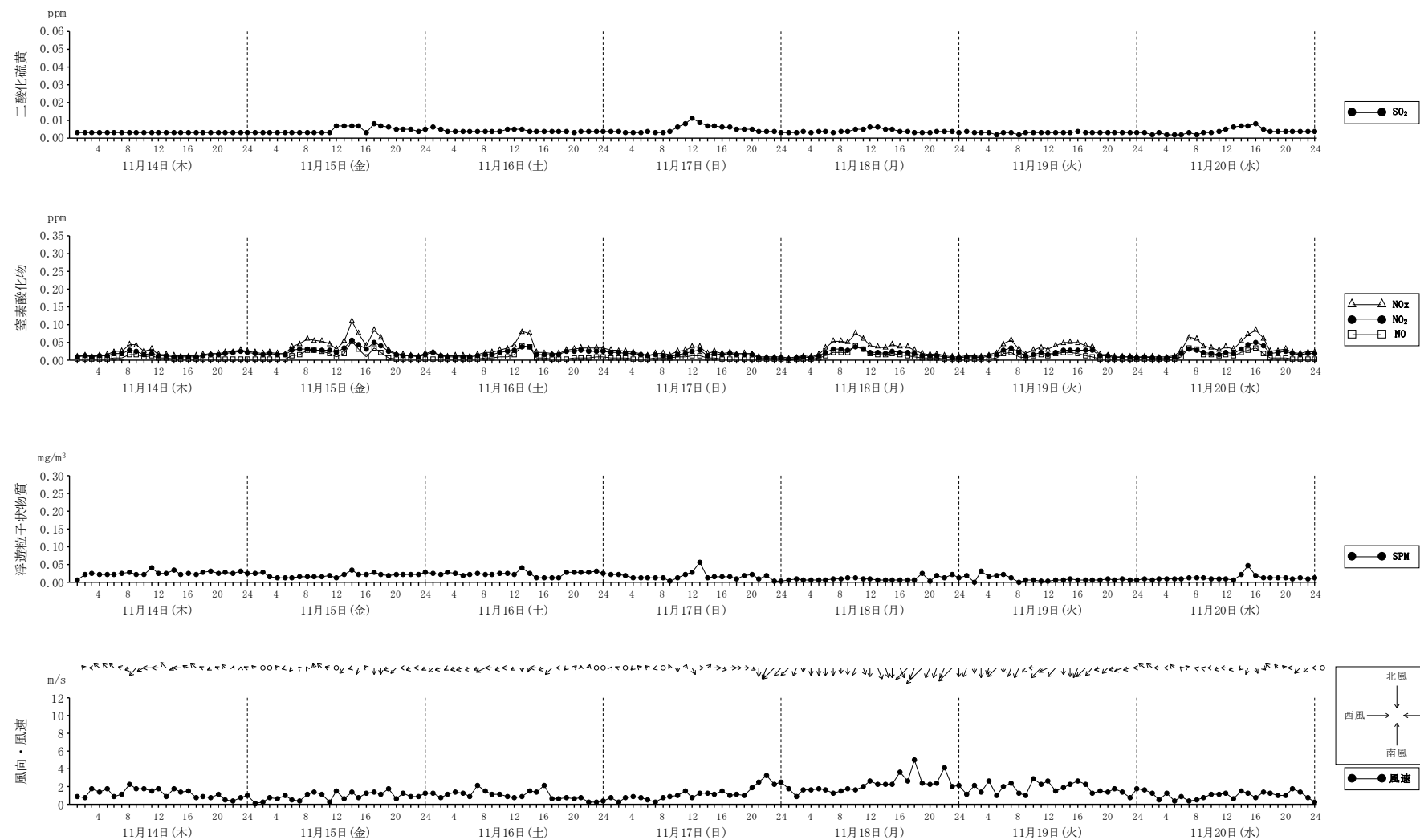


図 3 - 5 大気質・気象時系列変化図 (令和6年11月14日～11月20日) 測定点 No. 1

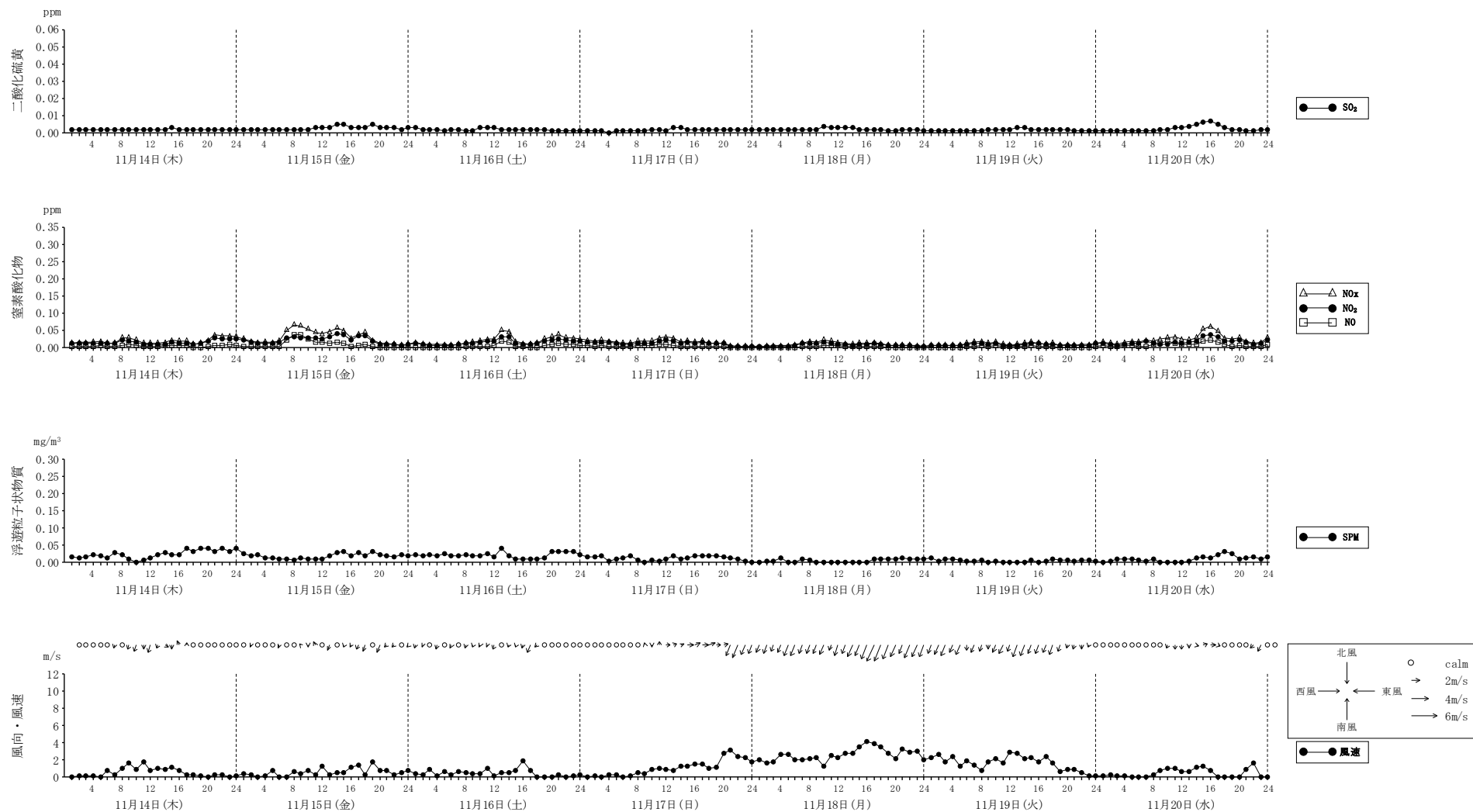


図 3 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和6年11月14日～11月20日) 測定点 No. 2